KI Sign

カテナスの
デジタルサイネージソリューション

設定マニュアル

KI Sign Editor

LAN Manager

KI Sign Player

LAN Setting Tool

もくじ

第1章 インストールの手順

1. 環境構築の流れ …… 3

2. インストーラーの流れ

3. スタンドアローン運用モードの場合 …… 4

3-1. 編集ソフトウェアのインストール

3-2. 編集ソフトウェアの設定 …… 6

3-3. プレーヤーのインストール …… 7

3-4. プレーヤーの設定 …… 8

4. LAN 運用モードの場合 …… 9

4-1. 管理・編集ソフトウェアのインストール

4-2. LAN 環境の設定 …… 11

(1) LAN 管理 DB 格納用フォルダーの作成

(2) LAN 管理 DB の作成

4-3. マネージャーの設定 …… 12

4-4. 編集ソフトウェアの設定

4-5. プレーヤーのインストール …… 13

4-6. プレーヤーの設定

5. インストールオプションの変更 …… 15

5-1. ソフトウェアの自動アップデート

5-2. カスタマイズ …… 17

5-3. プロキシ設定 …… 18

第2章 LAN環境設定の詳細

1. LAN 管理 DB と groups フォルダー …… 19

2. マネージャー、編集ソフトウェア、プレーヤーの設定項目

2-1. ライセンスキー

2-2. グループ …… 20

2-3. IP アドレス、または、ホスト名

2-4. 名称

2-5. プレイ開始時間とプレイ終了時間

2-6. 終了時動作

2-7. ログ保持期間

2-8. キャプチャーサイズ

2-9. マックアドレスとブロードキャストアドレス

3. ソフトウェアでの設定 …… 21

3-1. マネージャー

3-2. 編集ソフトウェア …… 22

3-3. プレーヤー …… 23

4. LAN SettingTool を使った設定 …… 24

4-1. LAN 管理 DB の新規作成と選択

(1) LAN 管理 DB を初めて使用する場合

(2) すでに作成しているDB(データベース)に切り替える場合

(3) 現在選択中の DB(データベース)のバックアップを作成する場合

4-2. グループの設定 …… 25

(1) グループタブに切り替える

(2) 子グループを追加

(3) グループ名の変更

(4) グループを移動

(5) グループを削除

4-3. マネージャーの設定 …… 26

(1) マネージャータブに切り替える

(2) マネージャーの追加

(3) マネージャーの削除

(4) マネージャーのグループを変更する

(5) IPアドレス(または、ホスト名)、マネージャー名を変更

4-4. 編集ソフトウェアの設定 …… 27

(1) 編集アプリタブに切り替える

(2) 編集ソフトウェアの追加

(3) 編集ソフトウェアの削除

(4) 編集ソフトウェアのグループを変更する

(5) IP アドレス（または、ホスト名)、編集アプリ名を変更

4-5. プレーヤーの設定 …… 28

(1) プレーヤータブに切り替える

(2) プレーヤーの追加

(3) プレーヤーの削除

(4) プレーヤーのグループを変更する

(5) IP アドレス（または、ホスト名)、プレーヤー名を変更

(6) プレイ開始時間とプレイ終了時間を変更 …… 29

(7) 終了時動作を変更

(8) ログ保持期間を変更

(9) キャプチャーサイズを入力

(10) MAC アドレスを入力

(11) ブロードキャストアドレスを入力

(12) プレイ開始時・終了時の機器制御コマンドを設定 30

5. LAN SettingTool の操作 …… 36

5-1. プレーヤーの選択

5-2. 並べ替え

5-3. 抽出 …… 37

5-4. エラーの抽出 …… 38

5-5. プレーヤーの追加と削除

5-6. 設定値の編集

5-7. 設定値の一括入力 …… 39

第3章 運用モードの変更:スタンドアローンからLANへ

1. LAN SettingTool とマネージャーのインストール… 40

2. LAN 管理 DB の作成

3. マネージャーの設定

4. 編集ソフトウェアの設定

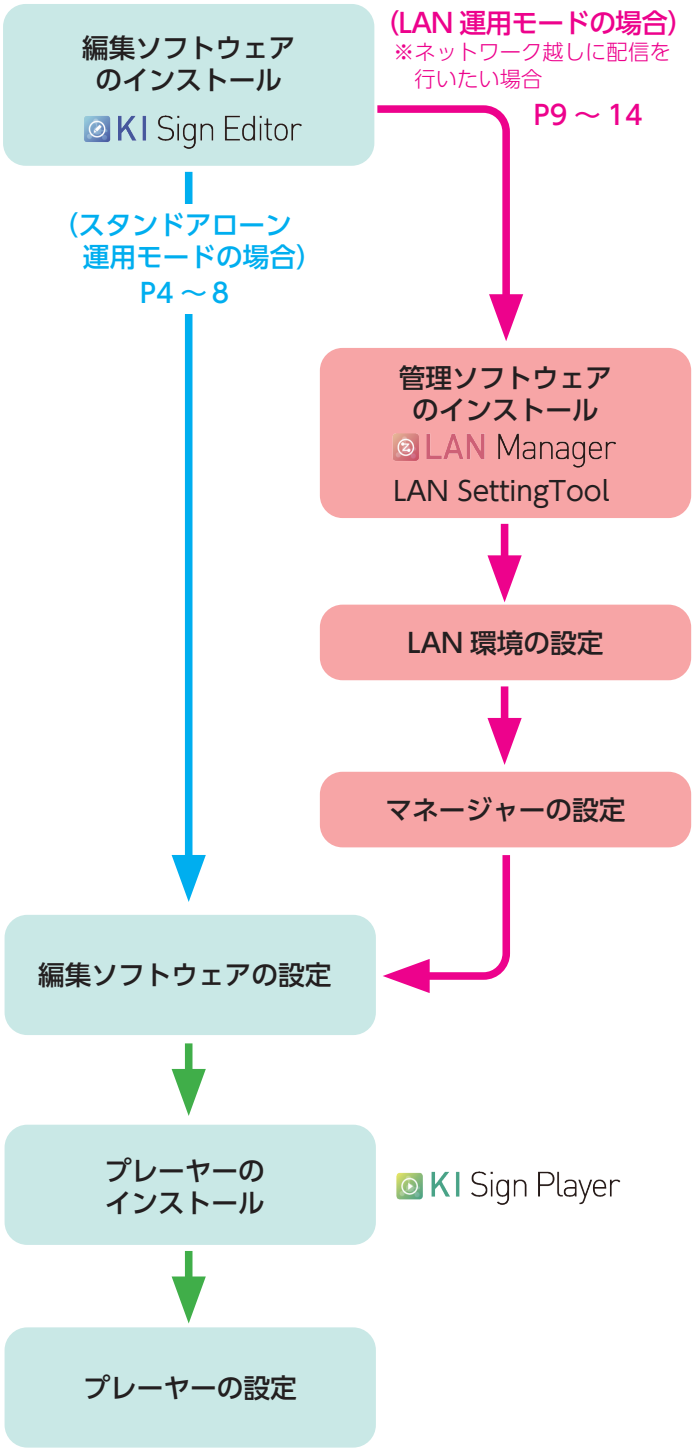
5. プレーヤーの設定 …… 41

第4章 アンインストール手順

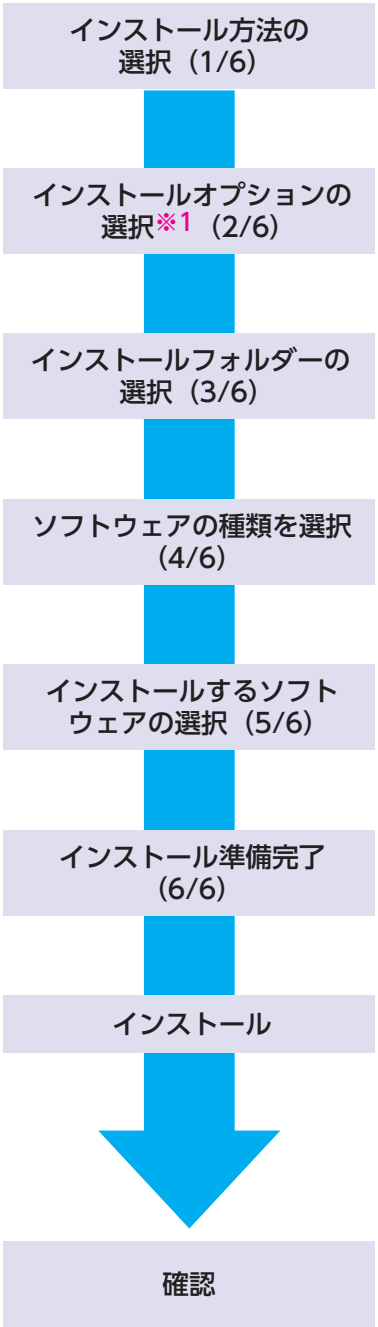
1. アンインストール …… 42

第 1 章 インストールの手順

1. 環境構築の流れ



2. インストーラーの流れ



※1 インストールオプションについて

No.	オプション項目	説明
①	ソフトウェアの自動アップデート	ソフトウェアの自動アップデートについて設定します。 「する」を設定した場合、ソフトウェア取得元に最新のソフトウェアがリリースされた際に自動更新※2 されます。 ソフトウェア取得元は、「インターネット」、「指定のフォルダー」が選択可能です。 「しない」を設定した場合、ソフトウェアは自動更新されません。
②	カスタマイズ※3	事前にカスタマイズ ID を通知されている場合は、設定します。

※2 リリースされた後の初回ソフトウェア起動時に自動更新されます。
※3 お客様のご要望により特別な機能が追加されている場合には、事前にカスタマイズ ID をお知らせします。

第１章 インストールの手順

3. スタンドアローン運用モードの場合

スタンドアローン運用モードに合わせたソフトウェアのインストールと環境構築を行います。


Setup.exe

3-1. 編集ソフトウェアのインストール

KI Sign Editor（以下、**編集ソフトウェア**と呼びます）をインストールします。
インストール用の DVD またはダウンロードした zip ファイルを解凍し、準備してください。
インストールファイル内の **Setup.exe** を起動します。

操作手順

①インストールの方法を**インターネット経由、フォルダーを指定する**から選択し、設定する

[インターネット経由]の場合
インターネット経由でソフトウェアをインストールします。
※ご利用環境に合わせて、プロキシサーバー、ユーザー認証の設定をしてください。

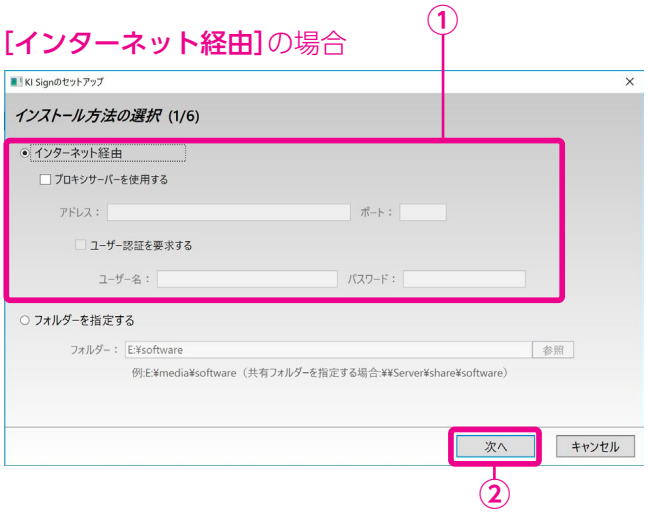
[フォルダーを指定する]の場合
DVD 等のメディア、または、ネットワークフォルダー等からソフトウェアをインストールします。

②**次へ**ボタンをクリックする

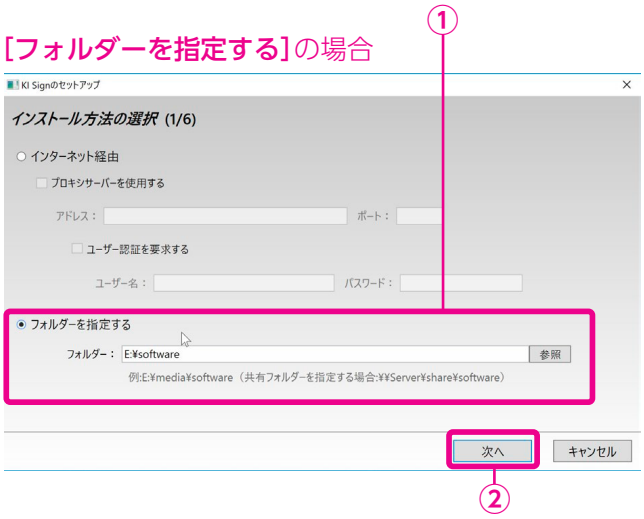
③インストールオプションを設定する
[ソフトウェアの自動アップデート]
ソフトウェアの自動アップデートを、**する** / **しない**を設定してください。
するを選択した場合、アップデート方法も設定してください。

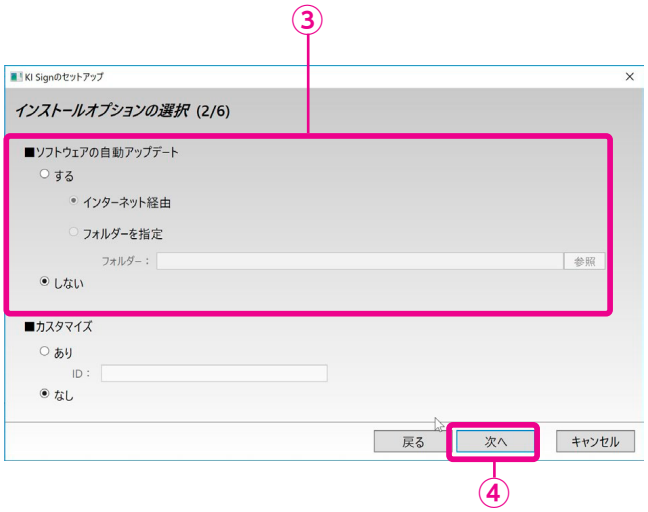
④**次へ**ボタンをクリックする

[インターネット経由]の場合



[フォルダーを指定する]の場合





次ページにつづく

操作手順（つづき）

⑤カスタマイズプログラムが**あり / なし**を選択する
［**カスタマイズ**］
カスタマイズプログラムが、**あり**の場合は、事前に通知された ID を入力してください。
※カスタマイズの項目は、インターネット経由のインストールを選択した場合のみ、表示されます。

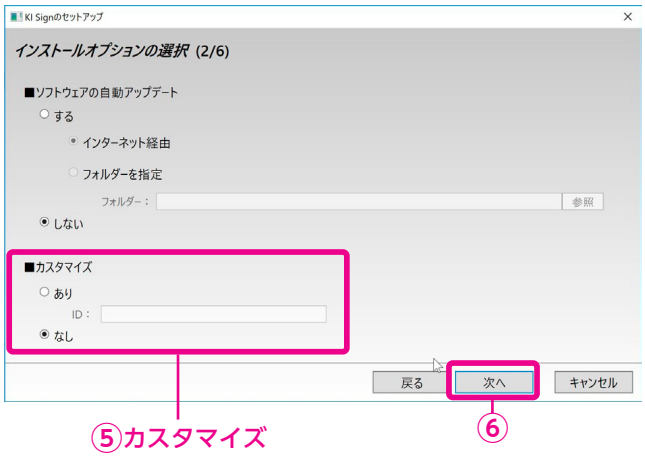
⑥**次へ**ボタンをクリックする

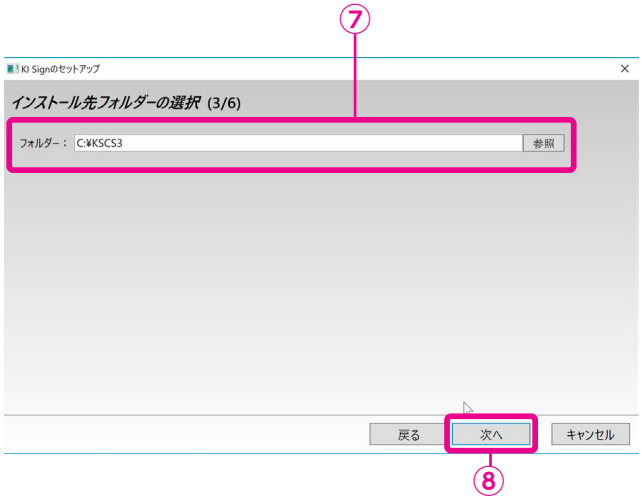
⑦インストール先のフォルダーを指定する

⑧**次へ**ボタンをクリックする

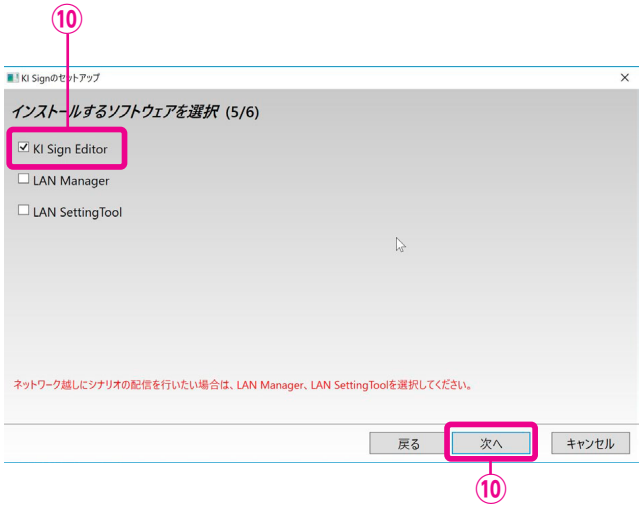
⑨**管理・編集**を選択し、**次へ**ボタンをクリックする

⑩KI Sign Editor のチェックボックスを**オン**にして、**次へ**ボタンをクリックする









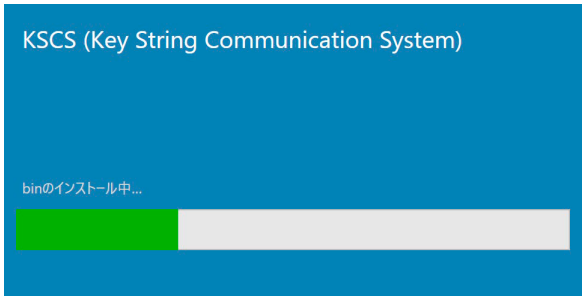
次ページにつづく

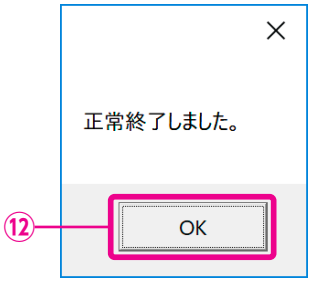
操作手順（つづき）

⑪**インストール**ボタンをクリックする
※インストールが開始します。

⑫「**正常終了しました。**」のメッセージが表示されたら OK ボタンをクリックする
※インストール終了です。
※デスクトップにインストールしたソフトウェアのショートカットアイコンが表示します。







3-2. 編集ソフトウェアの設定

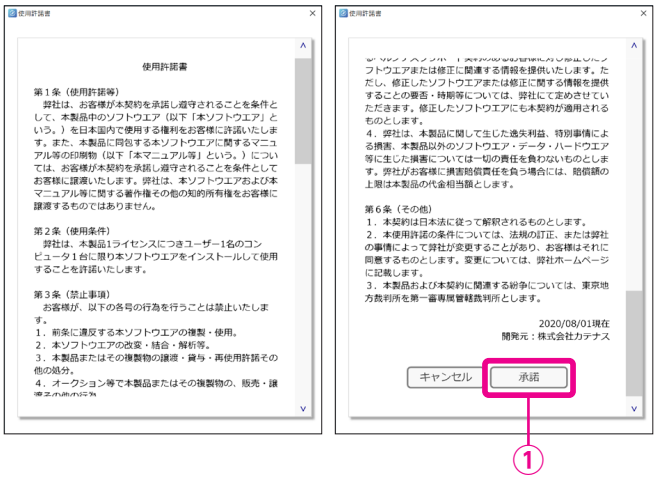
デスクトップに作成された KI Sign Editor のショートカットをダブルクリックし、編集ソフトウェアを起動します

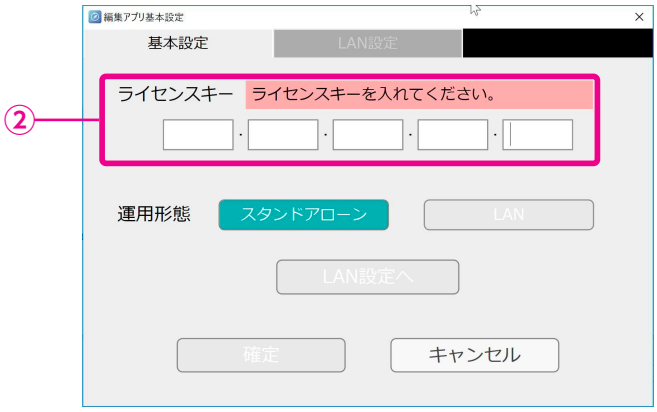
操作手順

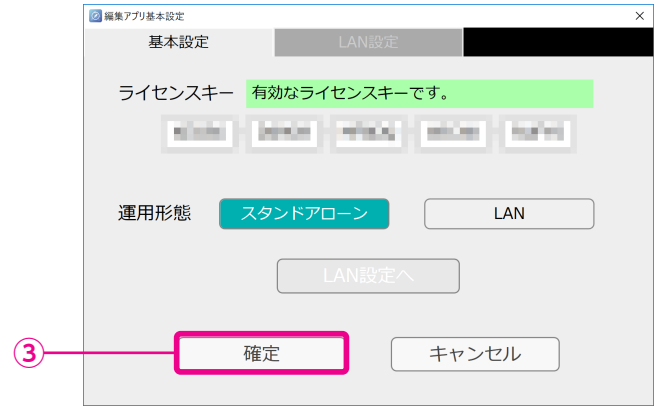
①使用許諾の内容を確認し、最下部にある**承諾**ボタンをクリックする

②**ライセンスキー**を入力する

③**確定**ボタンをクリックする
※編集ソフトウェアの設定は終了します。







3-3. プレーヤーのインストール

KI Sign Player（以下、**プレーヤー**と呼びます）をインストールします。
インストール用の DVD またはダウンロードした zip ファイルを解凍し、準備してください。
インストールファイル内の **Setup.exe** を起動します。



操作手順

①～⑧「**3-1. 編集ソフトウェアのインストール**」の①～⑧と同様に設定する

⑨**プレーヤー**を選択し、**次へ**ボタンをクリックする

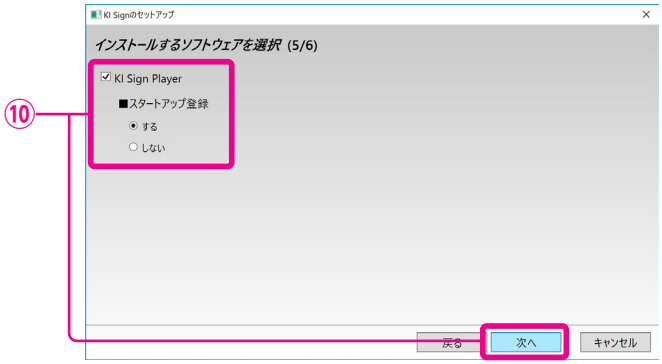
⑩KI Sign Player のチェックボックスを**オン**にして、**次へ**ボタンをクリックする

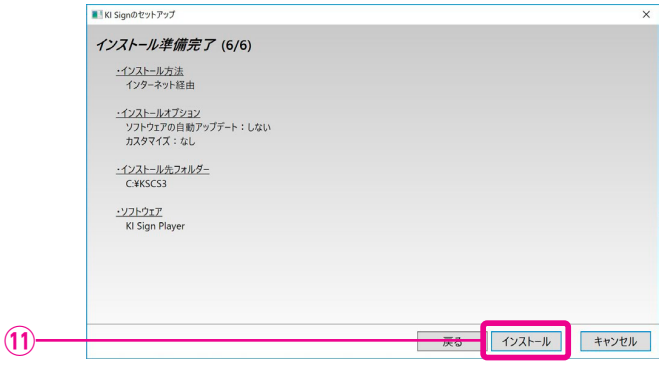
[スタートアップ登録]
プレーヤー PC 起動時に**プレーヤー**が自動起動**する** / **しない**を設定してください。
するを選択した場合、自動起動が有効になります。

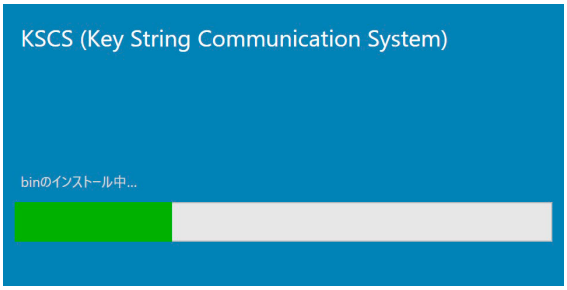
⑪**インストール**ボタンをクリックする
※インストールが開始します。

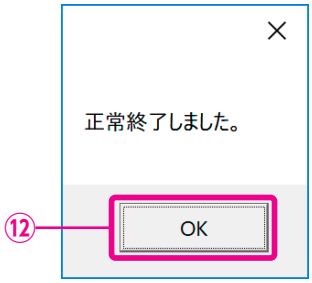
⑫「**正常終了しました。**」のメッセージが表示されたら **OK** ボタンをクリックする
※インストール終了です。
※デスクトップに**プレーヤー**のショートカットアイコンが表示します。











3-4. プレーヤーの設定

デスクトップに作成された **KI Sign Player** のショートカットをダブルクリックし、プレーヤーを起動します

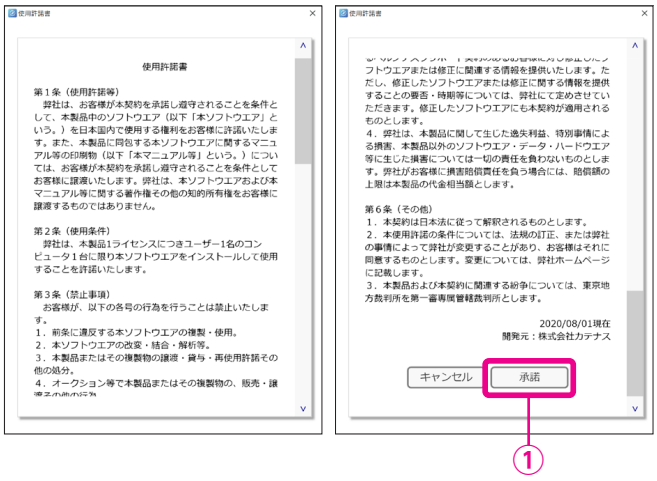


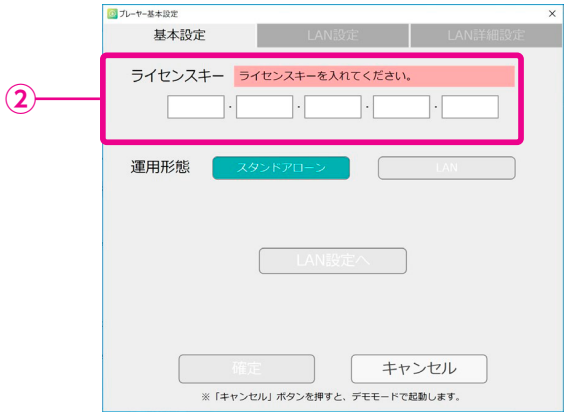
操作手順

①使用許諾の内容を確認し、最下部にある**承諾**ボタンをクリックする

②**ライセンスキー**を入力する

③**確定**ボタンをクリックする
※プレーヤーの設定は終了します。







4. LAN 運用モードの場合

LAN 運用モードに合わせたソフトウェアのインストールと環境構築を行います。

4-1. 管理・編集ソフトウェアのインストール

KI Sign Editor（以下、**編集ソフトウェア**と呼びます）、LAN Manager（以下、**マネージャー**と呼びます）、LAN SettingToolをインストールします。
インストール用の DVD またはダウンロードした zip ファイルを解凍し、準備してください。
インストールファイル内の **Setup.exe** を起動します。



操作手順

①インストールの方法を**インターネット経由、フォルダーを指定する**から選択し、設定する

[インターネット経由]の場合
インターネット経由でソフトウェアをインストールします。
※ご利用環境に合わせて、プロキシサーバー、ユーザー認証の設定をしてください。

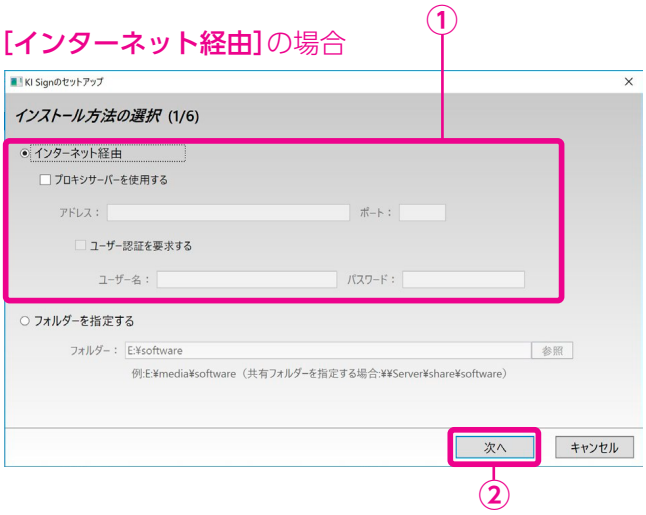
[フォルダーを指定する]の場合
DVD 等のメディア、または、ネットワークフォルダー等からソフトウェアをインストールします。

②**次へ**ボタンをクリックする

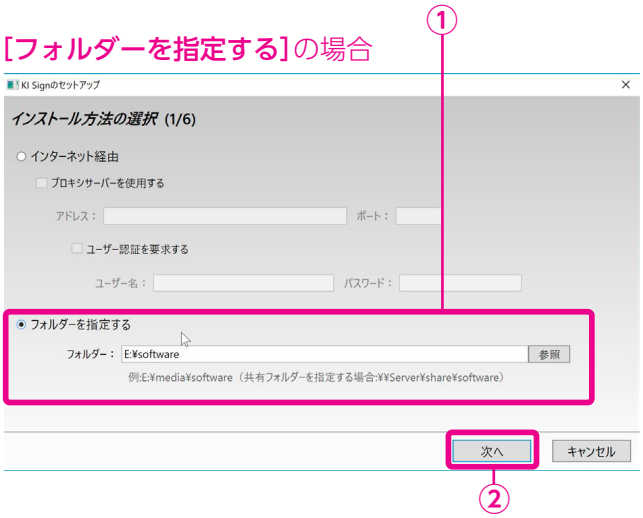
③インストールオプションを設定する
[ソフトウェアの自動アップデート]
ソフトウェアの自動アップデートを、**する** / **しない**を設定してください。
するを選択した場合、アップデート方法も設定してください。

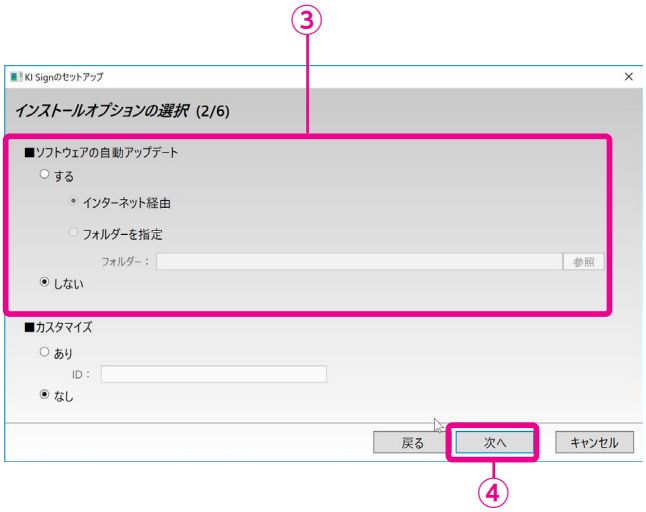
④**次へ**ボタンをクリックする

[インターネット経由]の場合



[フォルダーを指定する]の場合





次ページにつづく

操作手順（つづき）

⑤カスタマイズプログラムが**あり / なし**を選択する
[カスタマイズ]
カスタマイズプログラムが、**あり**の場合は、事前に通知された ID を入力してください。
※カスタマイズの項目は、インターネット経由のインストールを選択した場合のみ、表示されます。

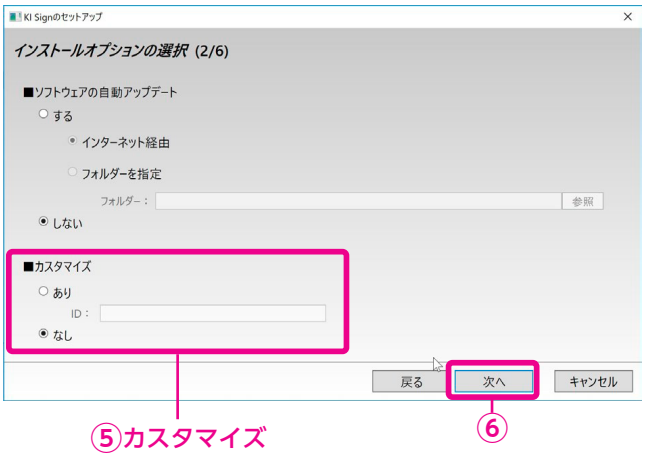
⑥**次へ**ボタンをクリックする

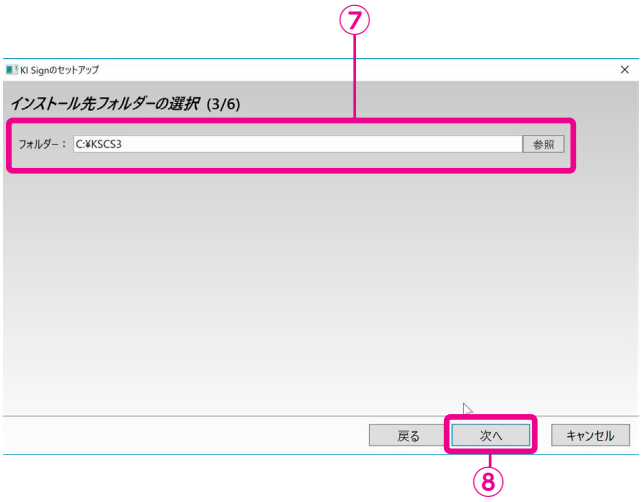
⑦インストール先のフォルダーを指定する

⑧**次へ**ボタンをクリックする

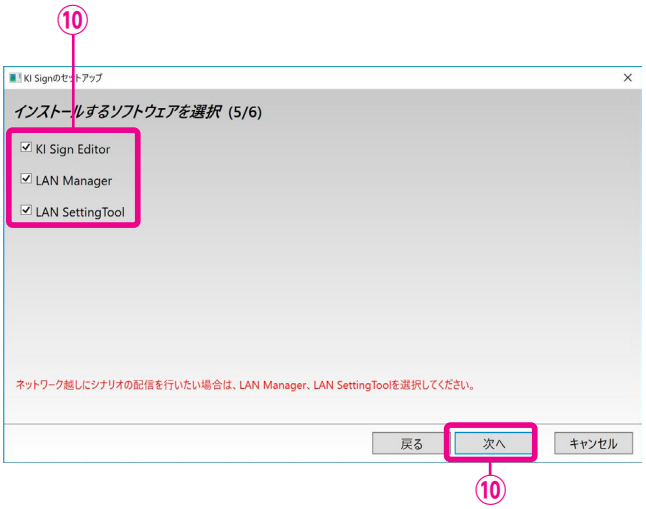
⑨**管理・編集**を選択し、**次へ**ボタンをクリックする

⑩KI Sign Editor、LAN Manager、LAN SettingTool のチェックボックスを**オン**にして、**次へ**ボタンをクリックする







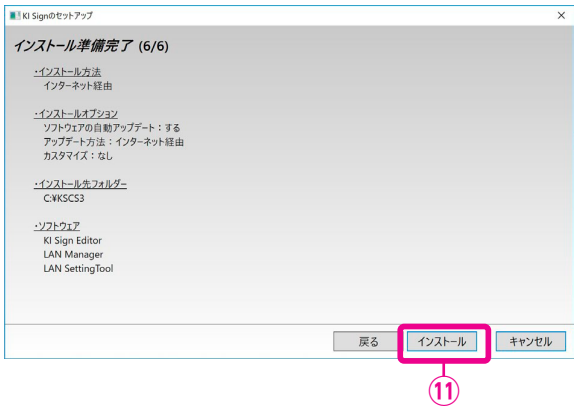


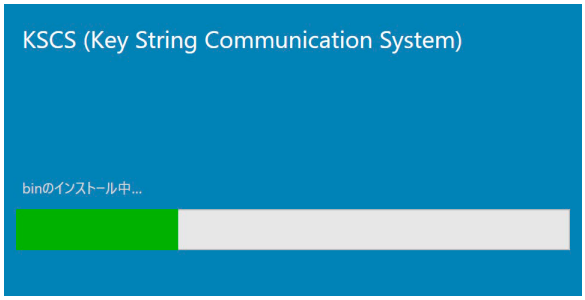
次ページにつづく

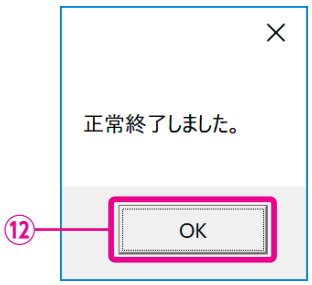
操作手順（つづき）

⑪**インストール**ボタンをクリックする
※インストールが開始します。

⑫「**正常終了しました。**」のメッセージが表示されたら OK ボタンをクリックする
※インストール終了です。
※デスクトップにインストールしたソフトウェアのショートカットアイコンが表示します。







4-2. LAN 環境の設定

LAN 運用モードの場合、マネージャー、編集ソフトウェア、プレーヤーは、LAN 管理 DB に登録・管理されています。LAN 管理 DB は、LAN SettingTool によって作成し、ソフトウェアの DB（データーベース）への登録は、各ソフトウェアから行います。

(1) LAN 管理 DB 格納用フォルダーの作成

LAN 管理 DB 格納用フォルダーとして、LAN 上の NAS などに、任意のフォルダーを作成します。
このフォルダーは、LAN 管理対象の各マネージャー、編集ソフトウェア、プレーヤーから参照、更新が可能でなければなりません。

(2) LAN 管理 DB の作成

デスクトップに作成された **LAN SettingTool** のショートカットをダブルクリックし、LAN SettingTool を起動します。



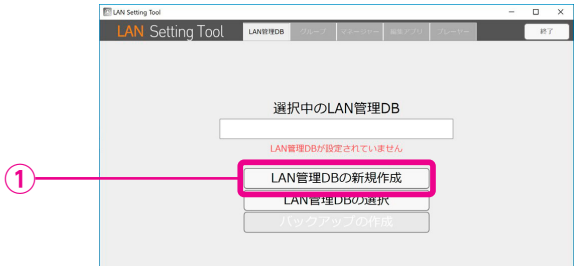
操作手順

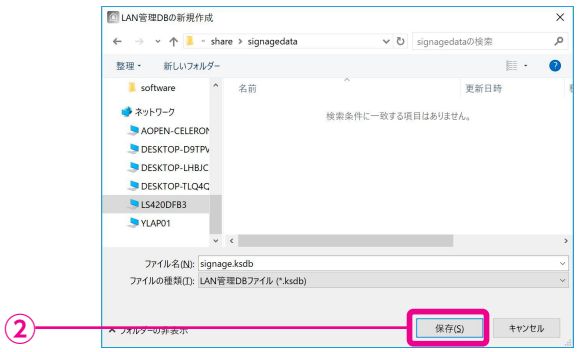
① **LAN 管理 DB の新規作成**ボタンをクリックする

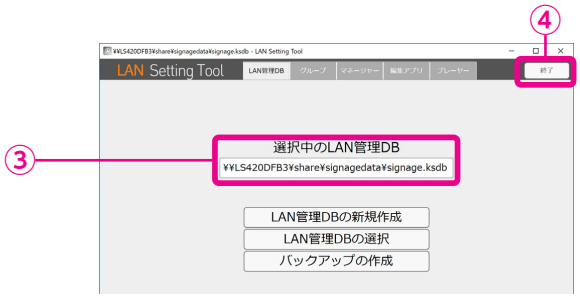
②**上記 (1)LAN 管理 DB 格納用フォルダーの作成**で作成した LAN 管理 DB 格納用フォルダーを選択し、**保存**ボタンをクリックする

③**選択中の LAN 管理 DB** に作成した LAN 管理 DB へのパスが表示されるのを確認する

③**終了**ボタンをクリックする







4-3. マネージャーの設定

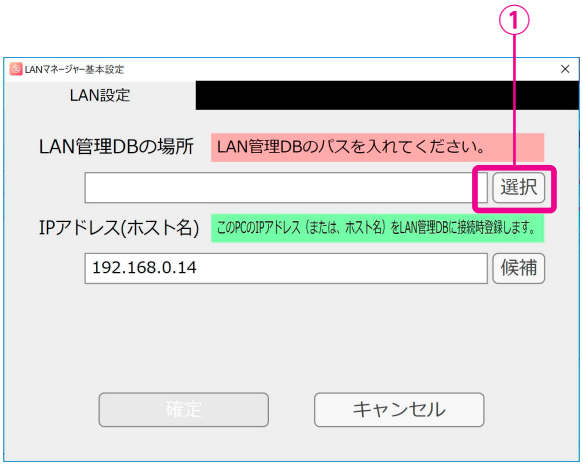
デスクトップに作成された **LAN Manager** のショートカットをダブルクリックし、**マネージャー**を起動します。

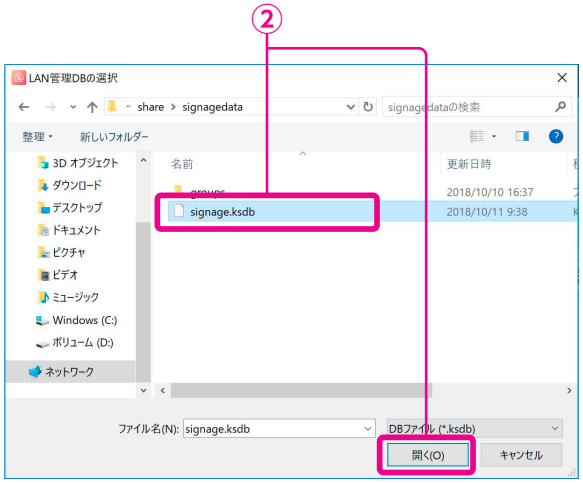
操作手順

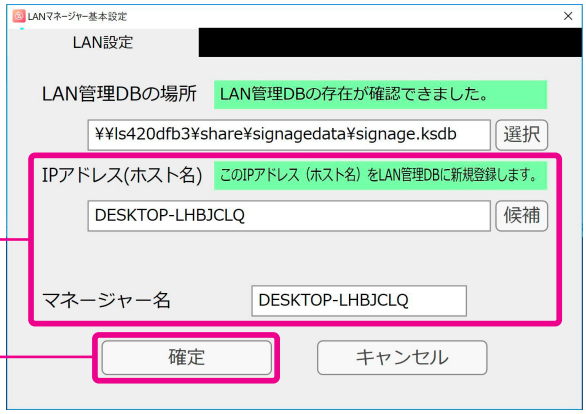
①**選択**ボタンをクリックする

②**P11 の (1)LAN 管理 DB 格納用フォルダーの作成**で作成した LAN 管理 DB を選択し、**開く**ボタンをクリックする

③必要に応じて、IP アドレス、名称を変更し、**確定**ボタンをクリックする







4-4. 編集ソフトウェアの設定

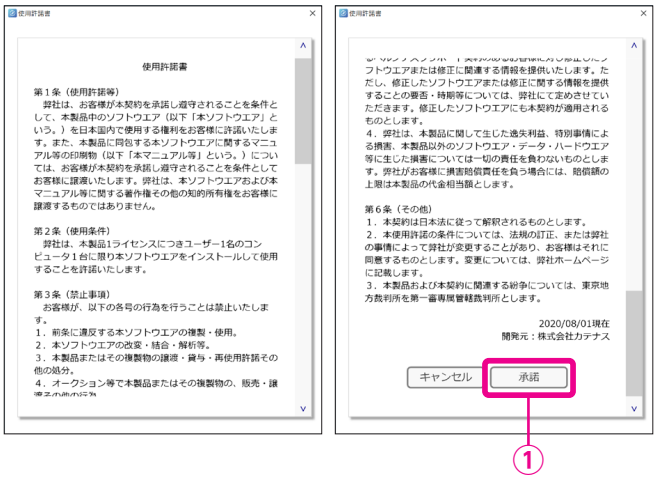
デスクトップに作成された **KI Sign Editor** のショートカットをダブルクリックし、編集ソフトウェアを起動します

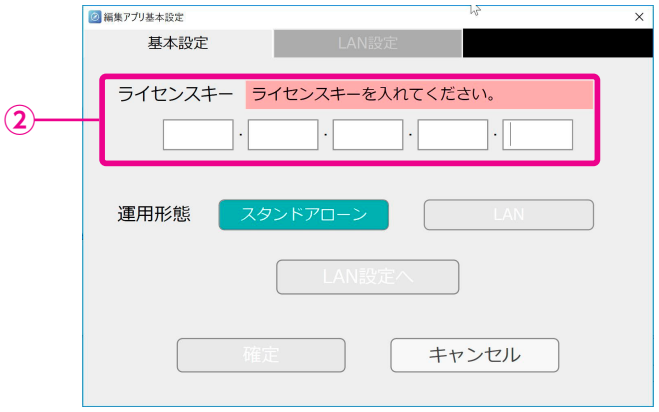
操作手順

①使用許諾の内容を確認し、最下部にある**承諾**ボタンをクリックする

②**ライセンスキー**を入力する

③運用形態の **LAN** を選択し、**LAN 設定へ**ボタンをクリックする







次ページにつづく

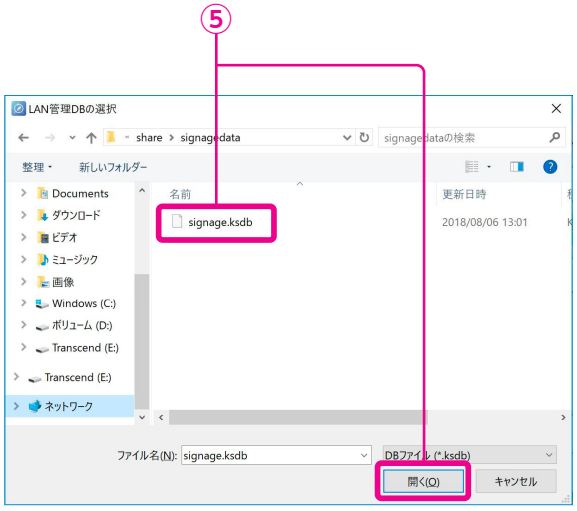
操作手順（つづき）

④**選択**ボタンをクリックする

⑤**P11 の (1)LAN 管理 DB 格納用フォルダーの作成**で作成した LAN 管理 DB を選択し、**開く**ボタンをクリックする

⑥必要に応じて、IP アドレス、名称を変更し、**確定**ボタンをクリックする







4-5. プレーヤーのインストール

プレーヤーのインストール手順は、スタンドアローンの場合と同一です。**P7 の 3-3. プレーヤーのインストール**を参照してください。

4-6. プレーヤーの設定

デスクトップに作成された KI Sign Player のショートカットをダブルクリックし、プレーヤーを起動します

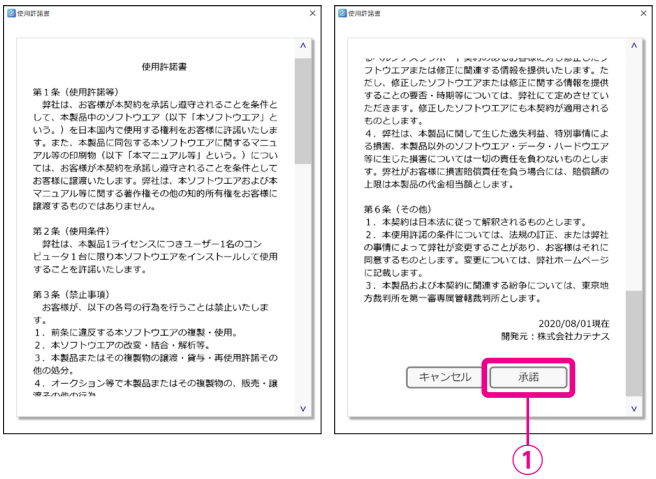


操作手順

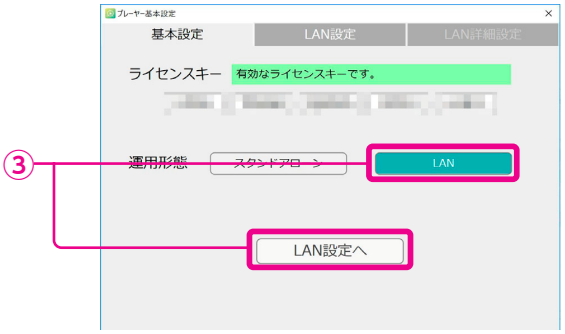
①使用許諾の内容を確認し、最下部にある**承諾**ボタンをクリックする

②**ライセンスキー**を入力する

③運用形態の **LAN** を選択し、**LAN 設定へ**ボタンをクリックする







次ページにつづく

操作手順（つづき）

④**選択**ボタンをクリックする

⑤**P11 の (1)LAN 管理 DB 格納用フォルダーの作成**で作成したLAN 管理 DB を選択し、**開く**ボタンをクリックする

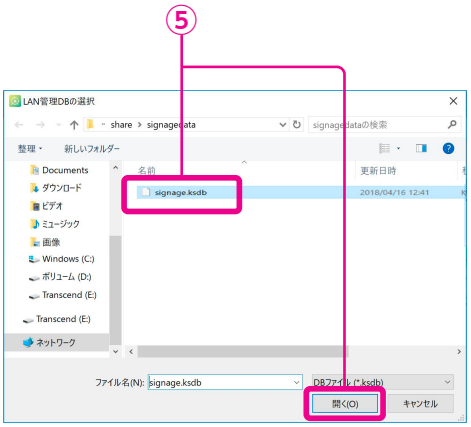
⑥**LAN 詳細設定へ**ボタンをクリックする

⑦**プレーヤー名**（マネージャーに表示する名称）、その他の項目を必要に応じて設定し、**確定**ボタンをクリックする

※各設定は、後で LAN Setting Tool から変更可能です。

※マネージャーからプレーヤー PC を起動する場合、Mac アドレス、ブロードキャストアドレスを設定します。









5. インストールオプションの変更

インストール時に設定したインストールオプションを変更します。

5-1. ソフトウェアの自動アップデート

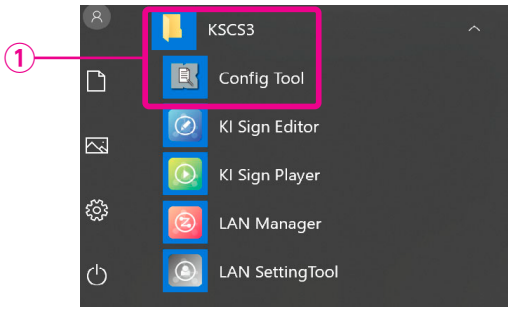
操作手順

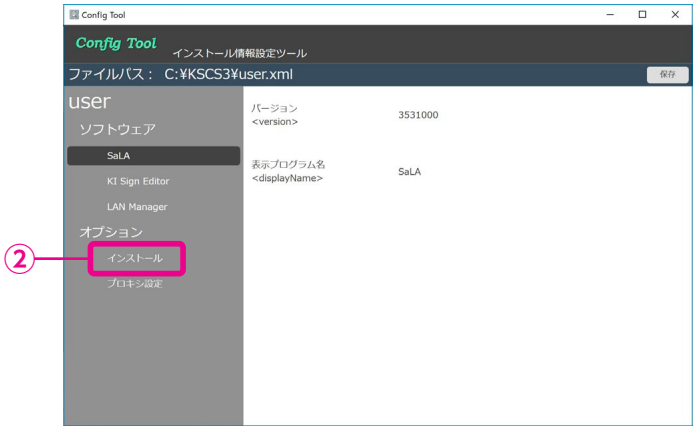
①Windows メニューから「KSCS3」にある Config Tool を開きます。

②オプションの**インストール**ボタンをクリックします。

③**ソフトウェアの自動アップデート**を設定する
※ソフトウェアの自動アップデートを有効にする場合、**する**を選択します。
無効にする場合、**しない**を選択します。

④**する**を選択した場合、アップデート方法を選択する









次ページにつづく

操作手順（つづき）

⑤インターネット経由を選択した場合、ご利用環境に応じて**プロキシ設定**を変更する
※ P18 5-3. **プロキシ設定**を参照してください。

⑥フォルダー指定を選択した場合、**ソフトウェアフォルダー**を選択する

⑦**保存**ボタンをクリックする
※「保存しますか」というダイアログボックスが開くので、**はい**ボタンをクリックします。







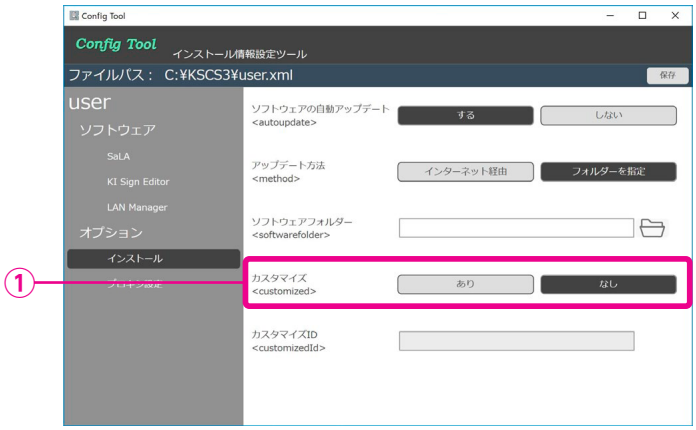
5-2. カスタマイズ

操作手順

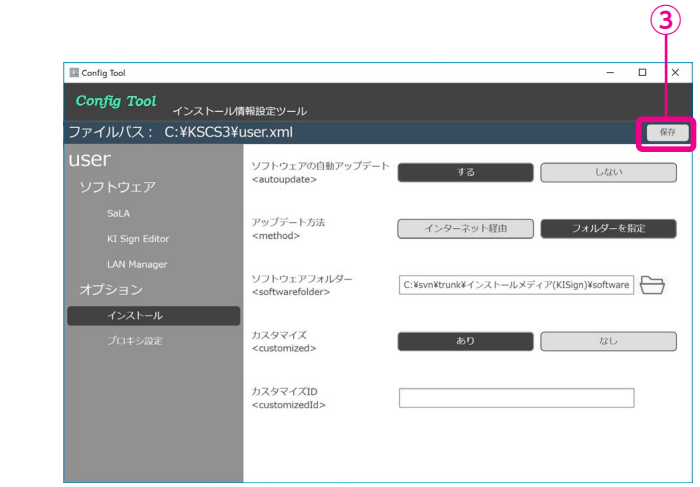
①カスタマイズプログラムがある場合、**あり**を選択する

②**あり**を選択した場合、**カスタマイズ ID** を設定する

③**保存**ボタンをクリックする
※「保存しますか」というダイアログボックスが開くので、**はい**ボタンをクリックします。







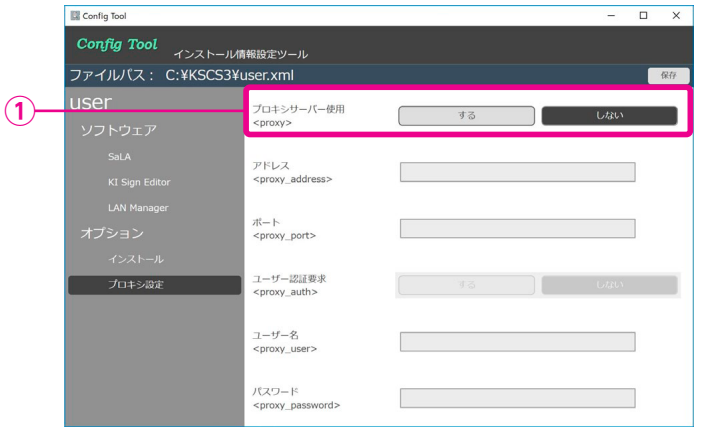
5-3. プロキシ設定

操作手順

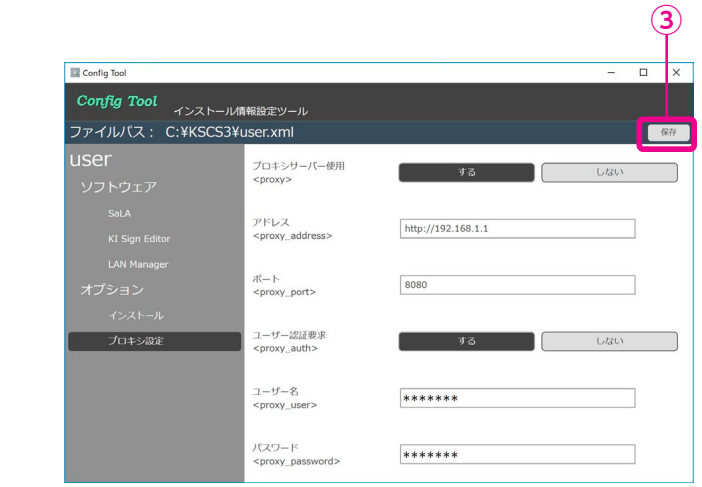
①インターネット接続時、プロキシサーバーを使用する場合、**する**を選択する
※使用しない場合、**しない**を選択します。

②**する**を選択した場合、ご利用環境にあわせて以降の項目を設定します。

③**保存**ボタンをクリックする
※「保存しますか」というダイアログボックスが開くので、**はい**ボタンをクリックします。







第 2 章 LAN 環境設定の詳細

1. LAN 管理 DB と groups フォルダー

LAN 運用モードでは、ファイルサーバーに置かれた LAN 管理 DB に、プレーヤーなどのソフトウェアの設定情報やコンテンツ情報が入っています。
LAN 管理 DB のあるフォルダー内に groups フォルダーが作成されており、コンテンツ、およびプレーヤーのログが保存されています。

2. マネージャー、編集ソフトウェア、プレーヤーの設定項目

マネージャー（LAN Manager）、編集ソフトウェア（KI Sign Editor）、プレーヤー（KI Sign Player）で設定できる項目は、以下の表のとおりです。これらの項目の中には、ソフトウェア側で設定可能なもの、LAN SettingTool（ツール）で設定可能なもの、それらのどちらでも設定可能なものがあります。

○：設定可能、△：設定可・変更不可、×：設定不可、ー：設定項目なし

設定項目	マネージャー		編集ソフトウェア		プレーヤー	
	ソフト※1	ツール※2	ソフト※1	ツール※2	ソフト※1	ツール※2
LAN 管理 DB の場所	○	×	○	×	○	×
ライセンスキー	ー	ー	○	×	○	×
グループ	×	○	×	○	×	○
IP アドレス（ホスト名）	△	○	△	○	△	○
名称	○	○	○	○	○	○
プレイ開始時間	ー	ー	ー	ー	○	○
プレイ終了時間	ー	ー	ー	ー	○	○
終了時動作	ー	ー	ー	ー	○	○
ログ保持期間	ー	ー	ー	ー	○	○
キャプチャーサイズ	ー	ー	ー	ー	○	○
マックアドレス	ー	ー	ー	ー	○	○
ブロードキャストアドレス	ー	ー	ー	ー	○	○

※ 1 ：各ソフトウェアでの設定
※ 2 ：LAN SettingTool での設定

2-1. ライセンスキー

編集ソフトウェアとプレーヤーでは、ソフトウェアごとに異なるライセンスキーの入力が必要です。
インストール時にライセンスキーの入力を行わないと、デモモードで起動します。
その場合は、後でライセンスキーを入力することができます。
また、ライセンスキーの変更も可能です。
ライセンスキーの入力は、ソフトウェアで行い、LAN SettingTool からはできません。
（→ **第 2 章 3-2. 編集ソフトウェア / 3-3. プレーヤー**）

2-2. グループ

マネージャー、編集ソフトウェア、プレーヤーは、グループ単位で管理されます。
グループは、階層構造になっており、トップの main グループ以下に複数の子グループを定義できます。
さらに、各子グループには、孫グループ、孫グループには、ひ孫グループとグループを追加していくことができます。
グループに属しているマネージャーは、その属しているグループ、およびその下位のグループに属するプレーヤーのみを管理することができます。
編集ソフトウェアは、所属するグループにコンテンツがアップロードされます。
グループは、LAN SettingTool でのみ、設定が可能です。各ソフトウェアで設定した場合は、main グループの所属となるので、main 以外のグループに所属させたい場合は、LAN SettingTool で変更します。
（→ **第 2 章 4-2. グループの設定** ）

2-3. IP アドレス、または、ホスト名

LAN 運用モードでは、マネージャー、編集ソフトウェア、プレーヤーを IP アドレスで管理しており、
ソフトウェア間の通信にも使われています。IP アドレスの代わりにホスト名を用いることもできます。

ポート番号の既定値は、右表のとおりです。
ポート番号を変更する場合は、IP アドレス、または、ホスト名の後に
「: ポート番号」を付します（例：192.168.1.4 : 64931）。
ソフトウェアごとのポート番号を変えることで、1 台の PC に複数の
マネージャーをインストールするといったことも可能になります。
（→ **第 2 章 4-3. マネージャーの設定 / 4-4. 編集ソフトウェアの設定 / 4-5. プレーヤーの設定**）

ソフトウェア	ポート番号
マネージャー	64929
編集ソフトウェア	64928
プレーヤー	64930

2-4. 名称

プレーヤー名は、マネージャーでプレーヤーの一覧表示するときに使われます。プレーヤー一覧は、プレーヤー名の順に表示されますので、プレーヤー名の前に "01"、"02"、"03" のように番号を付すなどすれば、表示順をコントロールできます。（→ **4-5. プレーヤーの設定 (5)**）

2-5. プレイ開始時間とプレイ終了時間

プレーヤーでのプレイの開始時間と終了時間を設定します。プレイ時間外は、画面が黒くなりますが、PC やディスプレイの電源が切れるわけではありません。開始時間、終了時間共に、00:00 から 23:59 の間の値を取ります。
終了時間が開始時間より小さい場合、プレイ開始の翌日、夜中の 0 時以降にプレイ終了となります。
（→ **4-5. プレーヤーの設定 (6)**）

2-6. 終了時動作

プレイ終了時間に行う動作を設定することができます。本項目の設定にかかわらず、プレイ時間外は黒い画面が表示されます。0: 何もしない、1: シャットダウン、2: 再起動
（→ **4-5. プレーヤーの設定 (7)**）

2-7. ログ保持期間

プレーヤーのログは、プレーヤーの起動時に、ファイルサーバーにアップロードされます。
ログの保持期間は、サーバー上のログの保存期間で、この期間を過ぎると削除されます。
ログの削除は、月ごとにまとめて行うため、n 月と指定すると、アップロード後、n ～ n+1 月の間、保持されます。
※ログのアップロードと削除は、プレーヤーの起動直後に行われます。（→ **4-5. プレーヤーの設定 (8)**）

2-8. キャプチャーサイズ

マネージャーで表示されるプレーヤーのキャプチャー画面のサイズです。
縦と横の大きい方のサイズをピクセル単位で指定します。（→ **4-5. プレーヤーの設定 (9)**）

2-9. マックアドレスとブロードキャストアドレス

マネージャーからプレーヤーがインストールされた PC を起動する場合は、PC のマックアドレスとブロードキャストアドレスを設定します。（→ **4-5. プレーヤーの設定 (10)(11)**）

3. ソフトウェアでの設定

3-1. マネージャー

マネージャー（LAN Manager）で、設定を行う場合は、Ctrl+S、または以下の手順で、マネージャーの基本設定画面を呼び出します。

操作手順

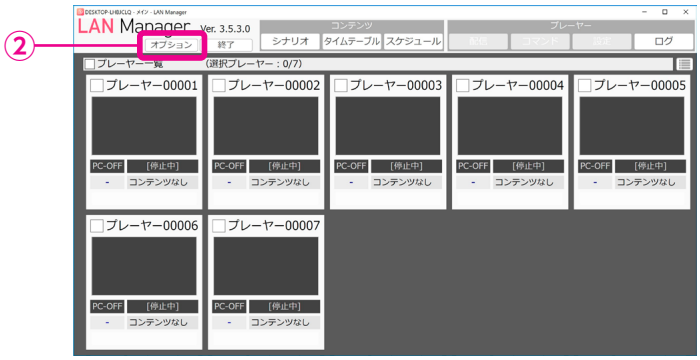
①**LAN Mnager** のショートカットをダブルクリックし、**マネージャー**を起動する

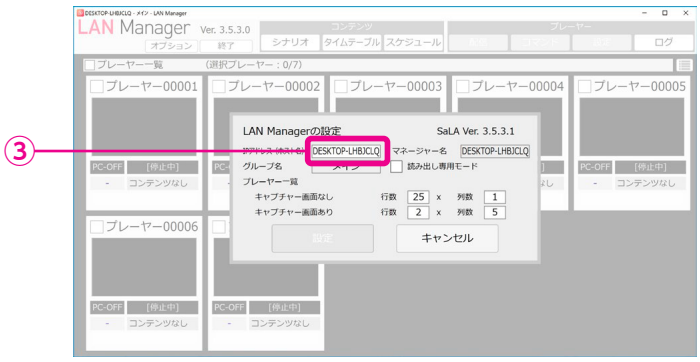
②**オプションボタン**ボタンをクリックする

③**IP アドレス（ホスト名）**の設定値をクリックする
※マネージャーの基本設定画面が開きます。

④設定を変更する
※LAN管理DBの場所、IPアドレス（または、ホスト名）、マネージャー名を変更することができます。

⑤**確定**ボタンをクリックする
※マネージャーの所属グループは、この画面から変更することができません。LAN SettingTool から変更してください。







3-2. 編集ソフトウェア

編集ソフトウェア（KI Sign Editor）で、設定を行う場合は、Ctrl+S、または、以下の手順で、編集ソフトウェアの基本設定画面を呼び出します。

操作手順

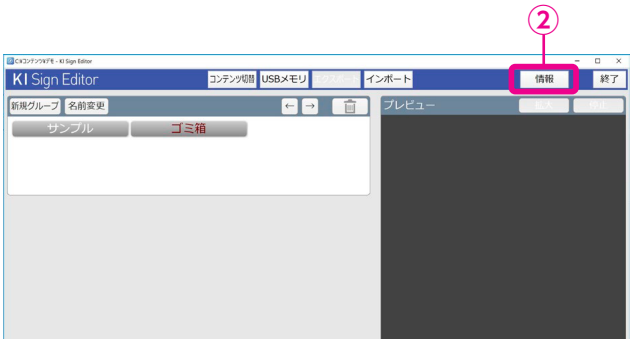
①KI Sign Editor のショートカットをダブルクリックし、**編集ソフトウェア**を起動する

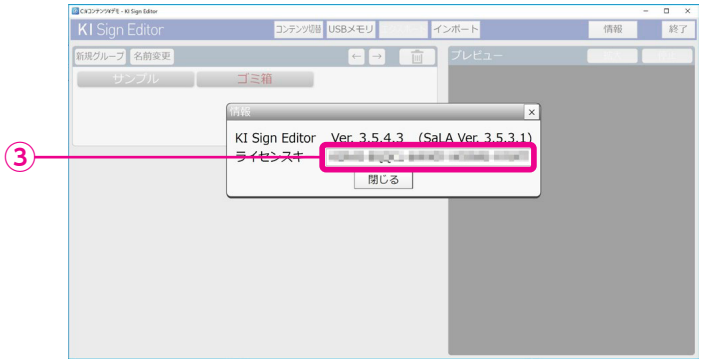
②**情報**ボタンをクリックする

③**ライセンスキー**の設定値をクリックする
※編集ソフトウェアの基本設定画面が開きます。

④設定を変更する
基本設定タブと**LAN設定タブ**で設定ができます。
[基本設定タブ]
ライセンスキーの入力、**運用形態**の変更を行えます。
[LAN 設定タブ]
運用形態が「LAN」の時に切り替えることができます。
LAN管理DBの場所、**編集アプリ名**の変更を行えます。
IPアドレス（または、ホスト名）は、いったんLAN管理DBに登録されると、その後は、編集ソフトウェアから変更ができなくなります。
変更が必要な時は、LAN SettingToolを利用してください。

⑤**確定**ボタンをクリックする
※編集ソフトウェアの所属グループは、この画面から変更することができません。
LAN SettingTool から変更してください。





[基本設定タブ]



[LAN設定タブ]



3-3. プレーヤー

プレーヤー（KI Sign Player）で、設定変更を行う場合は、Ctrl+S、または、以下の手順で、プレーヤーの基本設定画面を呼び出します。

操作手順

①**KI Sign Player** のショートカットをダブルクリックし、**プレーヤー**を起動する

②プレーヤーをプレイ画面から設定画面に切り替える
※KI Sign Editor **操作マニュアル 第 6 章 1. 設定画面への切り替え**を参照してください。

③**ライセンスキー**の設定値をクリックする
※プレーヤーの基本設定画面が開きます。

④設定を変更する
基本設定タブ、**LAN設定タブ**、**LAN詳細設定タブ**で設定ができます。

[基本設定タブ]
ライセンスキーの入力、**運用形態**の変更を行えます。

[LAN 設定タブ]
運用形態が「LAN」の時に切り替えることができます。
LAN管理DBの場所、**編集アプリ名**の変更を行えます。
IPアドレス（または、ホスト名）は、いったんLAN管理DBに登録されると、その後は、編集ソフトウェアから変更ができなくなります。
変更が必要な時は、LAN SettingToolを利用してください。

[LAN 詳細設定タブ]
運用形態が「LAN」の時に切り替えることができます。
プレーヤーをLAN運用モードで使用する場合のより詳しい設定を行います。これらの設定は、LAN SettingToolで行うことも可能です。

⑤**確定**ボタンをクリックする



[基本設定タブ]



[LAN設定タブ]



[LAN詳細設定タブ]



4. LAN SettingTool を使った設定

LAN 環境の設定は、LAN SettingTool を使って行うことができます。

4-1. LAN 管理 DB の新規作成と選択

LAN SettingTool のショートカットをダブルクリックし、LAN SettingTool を起動します。
起動した直後は、**LAN 管理 DB** タブが選択された状態となっています。

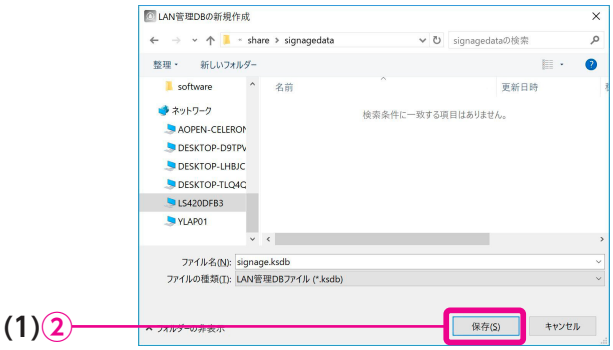


(1)LAN 管理 DB を初めて使用する場合

操作手順

①**LAN 管理 DB の新規作成**ボタンをクリックする
②置き場所を指定して、DB（データベース）を作成する
※詳しくは、**第 1 章 4-2. LAN 環境の設定**を参照してください。
※DB(データベース)の置き場所に指定したフォルダー内には、コンテンツやログがアップロードされるgroupsフォルダーも作られますので、同一フォルダー内に複数のDB(データベース)を作成しないように注意して下さい。

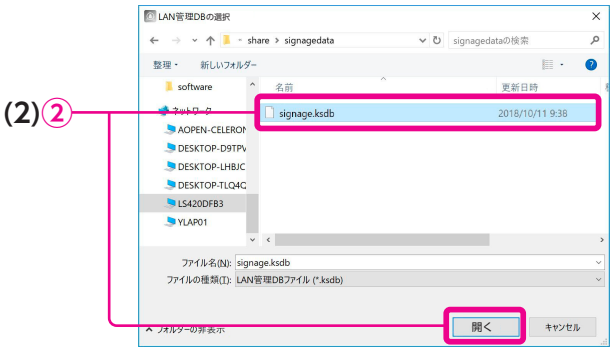




(2)すでに作成しているDB(データベース)に切り替える場合

操作手順

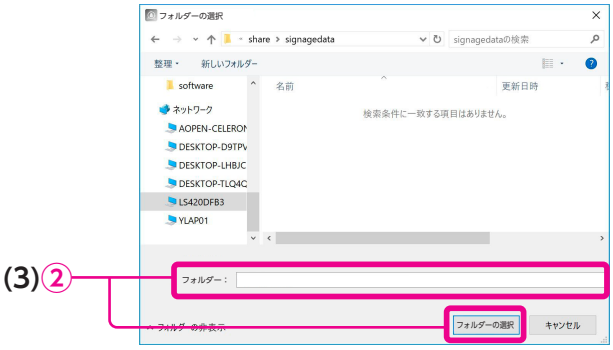
①**LAN 管理 DB の選択**ボタンをクリックする
②切り替えるの DB（データベース）を選択する



(3)現在選択中のDB(データベース)のバックアップを作成する場合

操作手順

①**バックアップの作成**ボタンをクリックする
②コピー先のフォルダーを選択する
※フォルダー内にバックアップ日付のフォルダーが作成され、DB と groups フォルダーがコピーされます。
バックアップから DB を復元する場合は、復元対象の DB と groups フォルダーを削除し、バックアップのあるフォルダーから DB と groups フォルダーをコピーします。



Point

※ライセンスキーの設定は、LAN SettingToolではできません。
※グループ設定は、LAN SettingToolでのみ可能です。
※LAN管理 DBを変更した場合、マネージャー、編集ソフトウェア、プレーヤーの設定変更が必要となります。

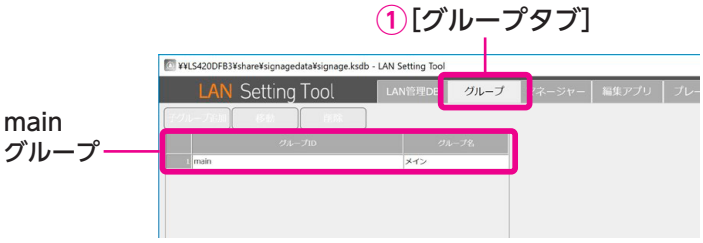
4-2. グループの設定

グループタブでグループの設定を行います。

(1) グループタブに切り替える

操作手順

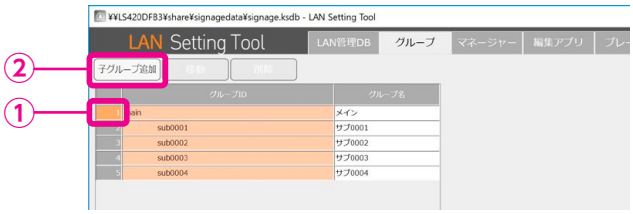
①**グループ**タブをクリックする
※初期状態では、main グループだけが定義されています。



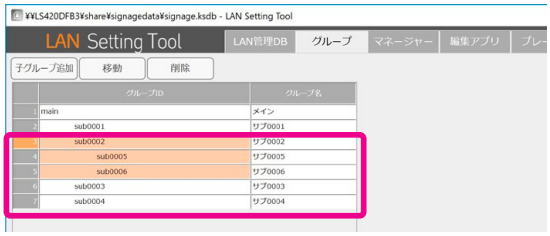
(2) 子グループを追加

操作手順

①mainグループをクリックする
②**子グループ追加**ボタンをクリックする
※子グループが main グループの下に追加されます。



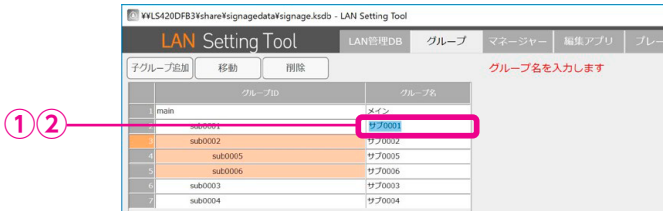
子グループに、さらにその子グループを追加していくこともできます。追加できる子グループの数や階層の深さに制限はありません。



(3) グループ名の変更

操作手順（グループ名の変更）

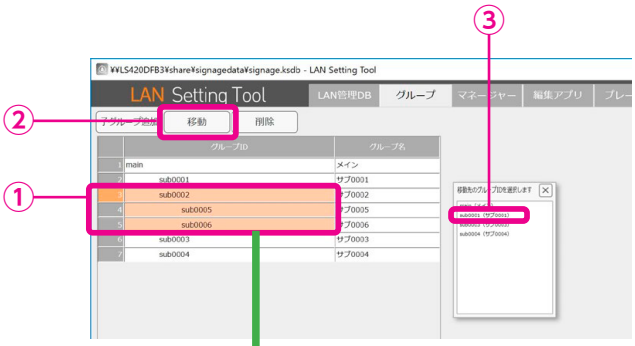
①グループ名をクリックする
②グループ名を入力する



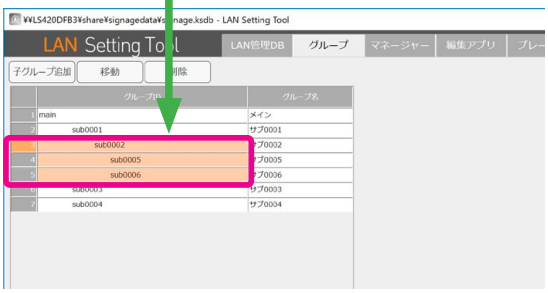
(4) グループを移動

操作手順

①移動する対象グループを選択する
②**移動**ボタンをクリックする
③ポップアップしたグループリストから、移動先のグループを選ぶ
※移動対象のグループおよびその子グループは、移動先のグループの子グループとして、挿入されます。



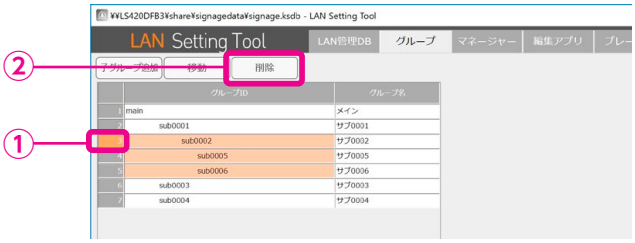
例：sub0002 のグループが、
sub0001 の子グループに移動



(5) グループを削除

操作手順

①削除する対象グループを選択する
②**削除**ボタンをクリックする
※グループは、子グループと共に削除されます。



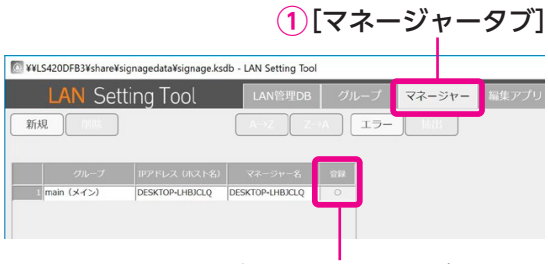
4-3. マネージャーの設定

マネージャー（LAN Manager）の設定を行います。

(1) マネージャータブに切り替える

操作手順

①**マネージャー**タブをクリックする
※リスト中のマネージャーの中で、すでにインストールされて、LAN 管理 DB に接続したことがあるマネージャーには、「登録」欄に〇印が付きます。



(2) マネージャーの追加

操作手順

①**新規**ボタンをクリックする
②マネージャーが追加される
※設定内容を確認してください。



(3) マネージャーの削除

操作手順

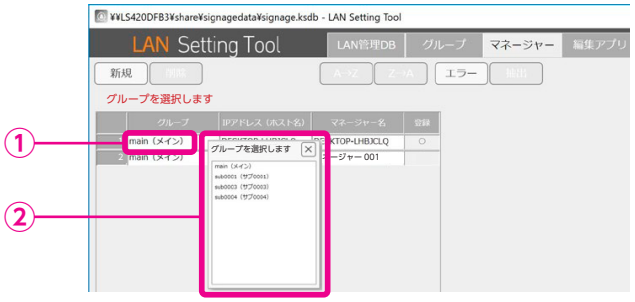
①削除するマネージャーを選択する
②**削除**ボタンをクリックする
※確認ダイヤログが表示します。
③**はい**をクリックする



(4) マネージャーのグループを変更する

操作手順

①グループの欄をクリックする
②ポップアップしたグループリストから選択する
※グループが変更したことを確認してください。



(5) IPアドレス（または、ホスト名）、マネージャー名を変更

操作手順

①**IPアドレス（ホスト名）**または、**マネージャー名**の欄をクリックする
②入力する
※他のマネージャーと同一内容の場合は、枠が赤になり、再度入力が必要になります。

[IPアドレス（ホスト名）の入力]



[マネージャー名の入力]



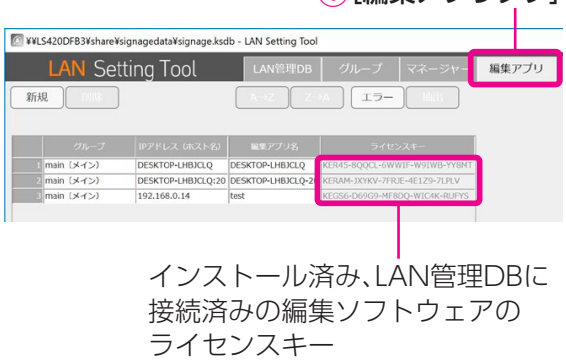
4-4. 編集ソフトウェアの設定

編集ソフトウェア（KI Sign Editor）の設定を行います。

(1) 編集アプリタブに切り替える

操作手順

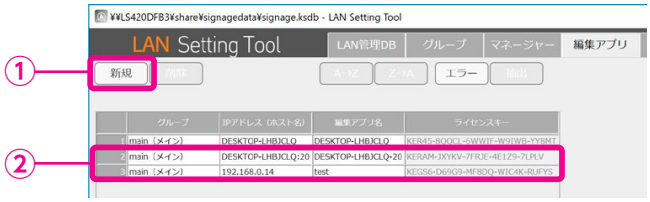
①**編集アプリ**タブをクリックする
※リスト中の編集ソフトウェアの中で、すでにインストールされて、LAN 管理 DB に接続したことがある編集ソフトウェアには、「ライセンスキー」欄にライセンスキーが表示されます。
ライセンスキー自体は、確認用で削除したり、変更したりすることはできません。



(2) 編集ソフトウェアの追加

操作手順

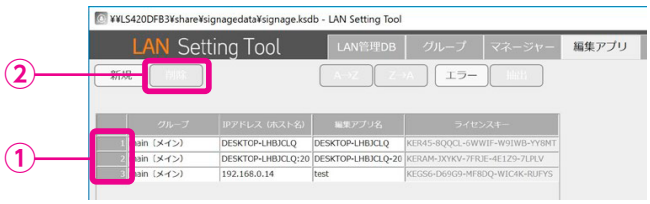
①**新規**ボタンをクリックする
②編集ソフトウェアが追加される
※設定内容を確認してください。



(3) 編集ソフトウェアの削除

操作手順

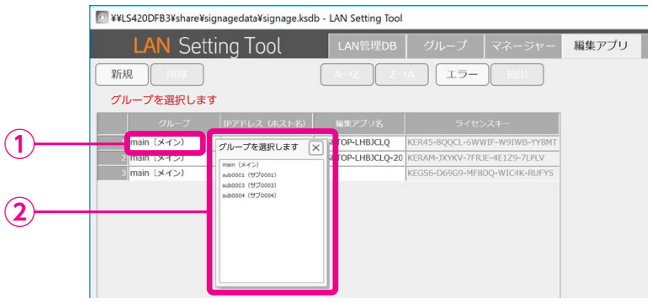
①削除する編集ソフトウェアを選択する
②**削除**ボタンをクリックする
※確認ダイヤログが表示します。
③**はい**をクリックする



(4) 編集ソフトウェアのグループを変更する

操作手順

①グループの欄をクリックする
②ポップアップしたグループリストから選択する
※グループが変更したことを確認してください。



(5) IPアドレス（または、ホスト名）、編集アプリ名を変更

操作手順

①**IPアドレス（ホスト名）**または、**マネージャー名**の欄をクリックする
②入力する
※他の編集ソフトウェアと同一内容の場合は、枠が赤になり、再度入力が必要になります。

[IPアドレス（ホスト名）の入力]



[編集アプリ名の入力]



第 2 章 LAN 環境設定の詳細

4-5. プレーヤーの設定

プレーヤー（KI Sign Player）の設定を行います。

(1) プレーヤータブに切り替える

操作手順

①**プレーヤー**タブをクリックする
※リスト中のプレーヤーの中で、すでにインストールされて、LAN 管理 DB に接続したことがあるプレーヤーには、「ライセンスキー」欄にライセンスキーが表示されます。
ライセンスキー自体は、確認用で削除したり、変更したりすることはできません。



インストール済み、LAN管理DBに接続済みのプレーヤーのライセンスキー

(2) プレーヤーの追加

操作手順

①**新規**ボタンをクリックする
②プレーヤーが追加される
※設定内容を確認してください。



(3) プレーヤーの削除

操作手順

①削除するプレーヤーを選択する
②**削除**ボタンをクリックする
※確認ダイヤログが表示します。
③**はい**をクリックする



(4) プレーヤーのグループを変更する

操作手順

①グループの欄をクリックする
②ポップアップしたグループリストから選択する
※グループが変更したことを確認する



(5) IPアドレス（または、ホスト名）、プレーヤー名を変更

操作手順

①**IPアドレス（ホスト名）**または、**プレーヤー名**の欄をクリックする
②入力する
※他の編集ソフトウェアと同一内容の場合は、枠が赤になり、再度入力が必要になります。

[IPアドレス（ホスト名）の入力]



[プレーヤー名の入力]



次ページにつづく

(6) プレイ開始時間とプレイ終了時間を変更

操作手順

①**プレイ開始時間**または、**プレイ終了時間**の欄をクリックする

②入力する
※「0:00」～「2359」の時間を入力します。
※「23:59」を「2350」のように、時と分の間の「:」を省略して入力することができます。
※入力した時間が間違っている場合は、枠が赤になり、再度入力が必要になります。

[プレイ開始時間の入力]



[プレイ終了時間の入力]



(7) 終了時動作を変更

操作手順

①**終了時動作**の欄をクリックする

②入力する
※終了時の動作を設定します。
0:何もしない、1:シャットダウン、2:再起動



(8) ログ保持期間を変更

操作手順

①**ログ保持期間**の欄をクリックする

②入力する
※ログを保持する期間を設定します。
0から12の整数を入力します。(単位:月)



(9) キャプチャーサイズを入力

操作手順

①**キャプチャーサイズ**の欄をクリックする

②入力する
※マネージャーで表示する画面サイズです。
100から400の整数を入力します。



(10) MAC アドレスを入力

操作手順

①**MACアドレス**の欄をクリックする

②入力する
※プレーヤーのインストールされたPCのマックアドレスを入力します。
"FF-FF-FF-FF-FF-FF"(FFは、2桁の16新数)の形式で入力してください。



(11) ブロードキャストアドレスを入力

操作手順

①**ブロードキャストアドレス**の欄をクリックする

②入力する
※プレーヤーのインストールされたPCのブロードキャストアドレスを入力します。
"XXX.XXX.XXX.XXX"(XXXは、0以上255以下の10進数)の形式で入力してください。



4-5. プレーヤーの設定（つづき）

（12）プレイ開始時・終了時の機器制御コマンドを設定

プレイの開始時･終了時に、Player から外部機器へコマンドを送信します。開始側と終了側をそれぞれ設定します。通常版ではネットワーク（TCP ／ UDP）とシリアル（RS232C）を選択できます。

操作手順

① プレーヤータブで対象 Player の「プレイ開始時機器制御コマンド」または「プレイ終了時機器制御コマンド」の欄をクリックします。
② 接続方式を選び、接続先・通信条件・コマンドを入力します。
③ 起動時の送信条件を確認し、「保存」をクリックします。
④ LAN Manager で設定を再読み込みし、Player へ反映された内容を確認します（P33）。



［プレイ開始時のシリアル設定例］

接続方式

「ネットワーク」は IP アドレス・ポートと TCP ／ UDP を設定します。「シリアル」は Player 側の COM ポートと通信条件を設定します。「送信しない」は開始側／終了側の送信を停止する設定です。

開始側・終了側は別々に設定

開始側を変更しても終了側の値は変わりません。COM とコマンドを含め、両方を確認してください。図の値は入力例です。接続機器の仕様に合わせて設定します。

次ページにつづく

（12）機器制御コマンドの設定（つづき）

ネットワークを使用する場合

送信先 IP：制御する機器の IP アドレスを入力します。
ポート：1 ～ 65535 の整数を入力します。
通信方式：TCP または UDP を選択します。
コマンド：機器の仕様に従って入力します。表記と送信条件は P32 を参照してください。

シリアルを使用する場合

機器を接続した Player の COM 番号を指定します。LAN Setting Tool を操作している PC の COM 番号ではありません。COM1 ～ COM256 を使用し、COM01 のような先頭ゼロは付けません。

「候補から選択…」

対象 Player で検出された COM 一覧から選びます。この操作では COM を開かず、機器へのコマンド送信も行いません。候補がない場合は Player 側の接続・ドライバーを確認します。

「Player から設定を取得」

対象 Player に適用中の開始側／終了側の COM と通信条件を取得します。コマンド本文を取得する機能ではありません。取得だけでは保存・適用・機器への送信は行いません。対象 Player と開始／終了を確認して実行し、処理の完了を待ってください。

通信条件

ボーレート：300 ～ 921600 の範囲で機器の指定値を入力。
データビット：5、6、7、8。　パリティ：なし、奇数、偶数。
ストップビット：1、1.5、2。
フロー制御：なし、RTS/CTS、XON/XOFF。
データビット 5 はストップビット 1 または 1.5、データビット 6 ～ 8 はストップビット 1 または 2 にします。指定できる値でも、機器・ドライバーの対応確認が必要です。

次ページにつづく

4-5. プレーヤーの設定（つづき）

（12）機器制御コマンドの設定（つづき）

コマンドの表記

256 文字以内で、機器仕様に定められた文字列・バイト列を入力します。バイト値は [HH]（2 桁の 16 進数）で指定します。終端文字は自動追加されないため、CR が必要な場合は [0d] を含めてください。通信条件を表す内部設定文字列はコマンド欄に入力しません。

ネットワークでの入力例（PJLink）

電源 ON：%1POWR 1[0d]
電源 OFF：%1POWR 0[0d]
[0d] は終端文字 CR のバイト指定です。実際のコマンド・終端文字・通信方式・ポート番号は機器の仕様に従います。この例を RS232C 機器へそのまま流用しないでください。

起動時の送信条件

開始側：「プレイ時間中に起動した場合に送信」。
終了側：「プレイ開始前に起動した場合に送信」と「プレイ終了後に起動した場合に送信」。
初期状態ではすべてオンです。通常のプレイ開始・終了に加え、Player 起動時に送信する条件を設定します。

自動送信と時刻設定

時間外プレイの開始・終了でも送信します。ただし、開始時間と終了時間が同じ場合、自動の機器制御コマンドは送信しません。終了時の Player PC のシャットダウン・再起動は別の設定です。

RS232C 送信時の動作

Player は送信のたびに COM を開き、送信後に閉じます。機器からの応答は受信しません。送信結果の表示・ログに加え、機器の表示や実際の動作を確認してください。

次ページにつづく

（12）機器制御コマンドの設定（つづき）

保存・適用・確認の手順

① 対象 Player、開始／終了、接続方式、接続先、通信条件、コマンド、送信条件を確認します。
②「保存」をクリックします。赤い入力エラーや COM 確認の案内があれば解消します。保存だけでは、起動中の Player への反映確認は完了していません。
③ LAN Manager で対象 Player を選び、プレーヤー設定画面の「再読み込み」をクリックします。完了を待ち、開始側／終了側の「詳細」で反映内容を確認します。
④ 必要に応じて LAN Setting Tool の「Player から設定を取得」で COM・通信条件を照合します。機器の動作は LAN Manager からのテスト送信と、開始／終了時の動作で確認します。

「送信しない」を設定する

停止したい開始側または終了側で「送信しない」を選び、保存して Player へ適用します。両方止める場合は両方で設定します。適用した側は自動送信・テスト送信とも抑止されます。Player PC の終了時動作を停止する設定ではありません。

入力済みの値と変更の取り消し

「送信しない」を選んでも入力済みの通信条件・コマンドは保持されます。方式を戻した場合は内容を再確認してください。「キャンセル」または×で閉じると変更を取り消します。未設定の画面を開いただけで、変更せず閉じた場合は新しい設定を書き込みません。

テスト送信

操作マニュアル第 8 章「3-6. 機器制御コマンドをテスト送信する」（P147）を参照してください。再読み込み中は送信できません。送信先とコマンドを確認してから操作してください。

次ページにつづく

4-5. プレーヤーの設定（つづき）

（12）機器制御コマンドの設定（つづき）

COM ポートが見つからない

対象 Player のケーブル・変換アダプター・ドライバーを確認します。デバイスマネージャーの COM 番号と対象 Player を照合し、一覧を再取得してください。候補がないという結果だけで、機器の接続状態は確定できません。

Player から設定を取得できない

Player の起動、接続先、LAN 通信、対応製品の組み合わせ（P35）を確認します。「シリアル設定が適用されていません」の場合は LAN Manager から設定を適用します。「送信しない」の応答は通信失敗とは異なります。再読み込み中は完了を待って再試行してください。

通信条件やコマンドを保存できない

COM1 ～ COM256、ボーレート 300 ～ 921600 の範囲を確認します。データビット 5 ＋ストップビット 2、データビット 6 ～ 8 ＋ストップビット 1.5 は不正な組み合わせです。コマンドの長さ・終端文字・機器固有の表記も確認し、画面の案内に従って修正します。

送信しても機器が動かない

他のソフトが COM を使用していないか、ケーブルの配線、通信条件、機器の制御モード、コマンドを確認します。ネットワークでは送信先 IP・ポート・TCP ／ UDP も確認します。RS232C は機器の応答を受信しないため、機器の表示・状態で結果を確認してください。

次ページにつづく

（12）機器制御コマンドの設定（つづき）

対応製品の組み合わせ（未リリース候補）

今回の RS232C 設定・送信停止を使用する場合は、KI Sign Player 4.0.5.6、LAN Setting Tool 3.5.3.7、LAN Manager 4.0.4.1 を同時に更新してください。今回の候補構成では SaLA 3.7.8.2 を使用します。未更新の Player では設定取得・送信停止を正しく扱えません。クラウド版の RS232C は今回の対象外です。

接続前に確認するもの

接続機器の通信仕様書、Player 側の COM 番号、ケーブル・変換アダプター、開始用／終了用コマンドを準備します。通信条件は Player と機器の両側で一致させてください。

運用前の確認

開始側・終了側をそれぞれ保存・適用し、LAN Manager の詳細画面で確認します。送信を有効にした側はテスト送信と開始／終了時の動作を確認し、「送信しない」を設定した側は送信が停止していることを確認します。Player PC の終了時動作も併せて確認してください。

今回の確認範囲

入力値、不正な組み合わせ、設定取得、送信抑止は実装と既存の隔離試験に照合しています。物理 UART、各変換アダプター、対象機器との通信成功は今回の整備では未確認です。導入先の機器で確認してください。
この節は未リリース候補の説明です。

5. LAN SettingTool の操作

LAN SettingTool を使って、アプリケーションの追加、削除、設定項目の編集を行う方法は、マネージャー、編集アプリ、プレーヤーのタブで共通です。プレーヤータブを例に操作方法を説明します。

5-1. プレーヤーの選択

プレーヤーの削除や設定値の一括入力を行う場合、プレーヤーの選択を行います。

単体のプレーヤーを選択する場合

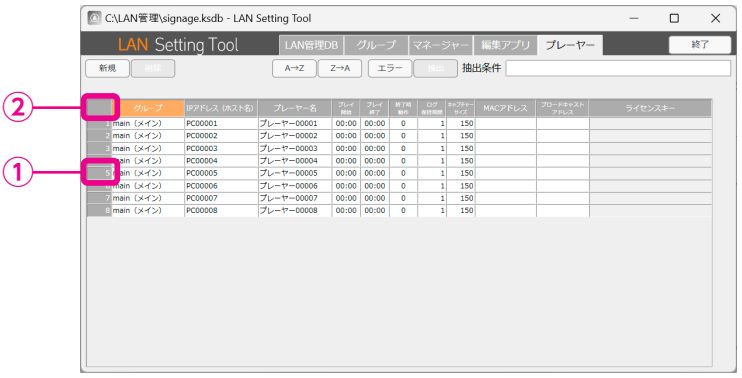
①リストの左端をクリックする

すべてのプレーヤーを選択する場合

②リストの左上の枠をクリック、
または Ctrl+A を押す

選択をキャンセルする場合

再度、②リストの左上の枠をクリック、
または ESC キーを押す



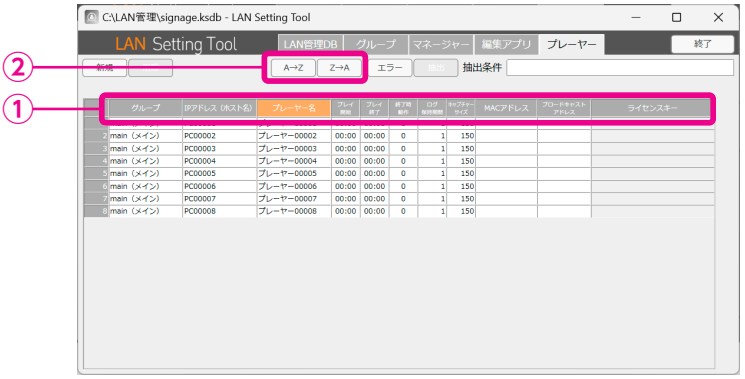
5-2. 並べ替え

プレーヤーリストを並べ替えます

操作手順

①並べ替えの対象となる項目を選択する
※グループ、IP アドレス（ホスト名）、プレーヤー名、プレイ開始、プレイ終了、終了時動作、ログ保持期間、キャプチャーサイズ、MAC アドレス、ブロードキャストアドレス、ライセンスキーのすべての項目で行えます。

②昇順の場合は、A → Z ボタン、
降順の場合は、Z → A ボタンをクリックする



5-3. 抽出

プレーヤーリストから、条件を満たすプレーヤーだけを抽出することができます。

操作手順

①抽出の対象となる項目を選択する
※グループ、IP アドレス（ホスト名）、プレーヤー名、プレイ開始、プレイ終了、終了時動作、ログ保持期間、キャプチャーサイズ、MAC アドレス、ブロードキャストアドレス、ライセンスキーのすべての項目で行えます。

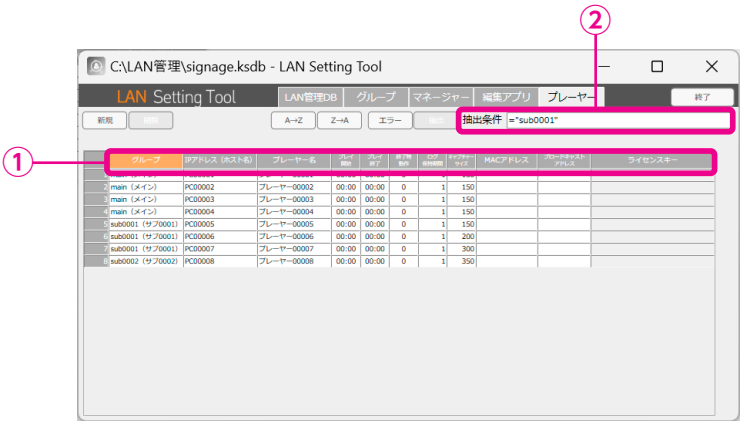
②テキストボックスに抽出条件を入力する

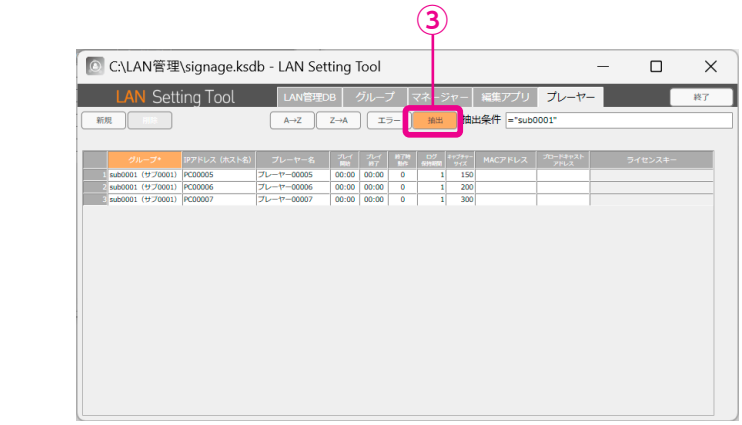
③**抽出**ボタンをクリックする
※抽出条件を満たすプレーヤーだけが抽出され、表示されます。

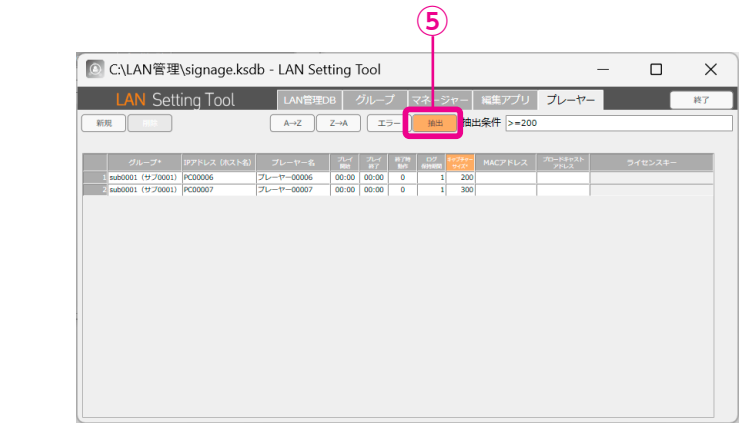
抽出されたリストから、さらに条件を加えて抽出する場合

④抽出されたリストに、追加する条件を①②で設定する
※抽出条件が設定されている項目には、項目名の後に「*」が付いています。

⑤**抽出**ボタンをクリックする









抽出条件が設定されている項目には、項目名の後に「*」が付いています。
設定されている項目に切り替え、抽出ボタンをオフにすると抽出条件が解除され、「*」も消えます。

抽出条件のテキストボックスでは、以下のような演算子が使えます。
※条件式では、#vが対象となる項目の値を表します。
#vは、省略することが可能です。
※右辺の値、xが文字列の場合は、""で囲みます。

#v = x	x と等しい
#v < > x	x と等しくない
#v > x	x より大きい
#v >= x	x 以上
#v < x	x より小さい
#v <= x	x 以下

(例)
= "sub0001"　：値が sub0001 と等しい

■論理演算子 and、or を使用することができます。
(例)
#v >= "player00010" and #v <="player00019"：
コード順で "player00010" から "player00019" の間にある値

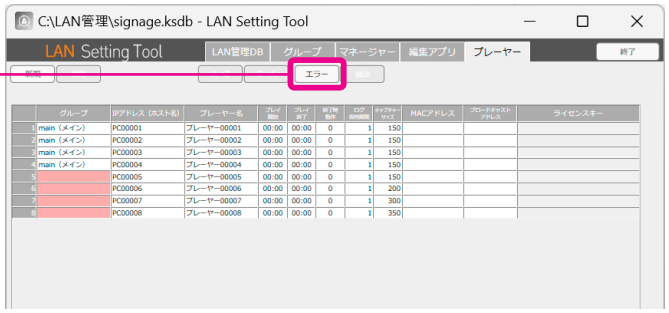
■like 句でパターンマッチングを行うことができます。
パターン内では、% と_ を使用します。% は、任意の0 文字以上の文字列、_ は、任意の1 文字を表します。
(例)
#v like "sub%"　：sub で始まる文字列
#v like "player000__"　：player000で始まり、その後ろに 2 文字が続く文字列
※先頭の#vは、省略することが可能です。

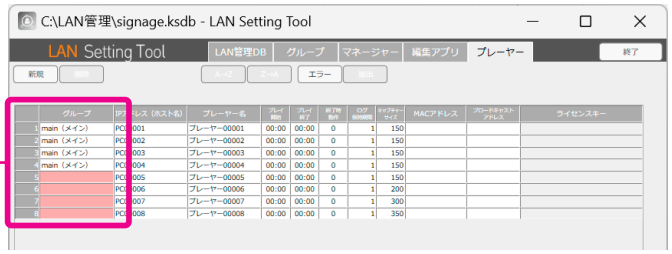
5-4. エラーの抽出

プレーヤーの設定値の中に異常値がある場合、そのセルが赤く表示されます。

操作手順

①**エラー**ボタンをクリックする
※エラーを含むプレーヤーを抽出することができます。



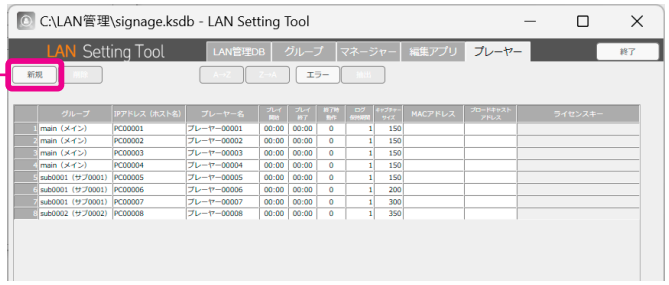


5-5. プレーヤーの追加と削除

プレーヤーを追加・削除します。

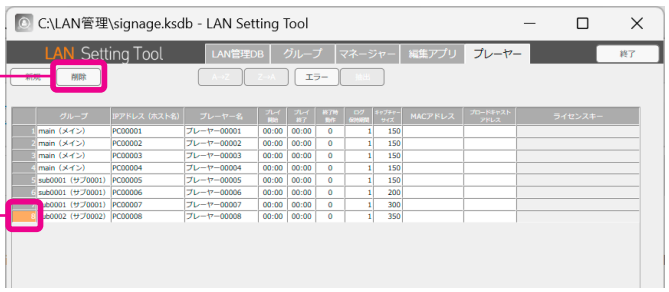
操作手順（追加）

①**新規**ボタンをクリックする
※新しいプレーヤーが追加されます。



操作手順（削除）

①対象のプレーヤーを選択する
②**削除**ボタンをクリックする
※対象のプレーヤーが削除されます。

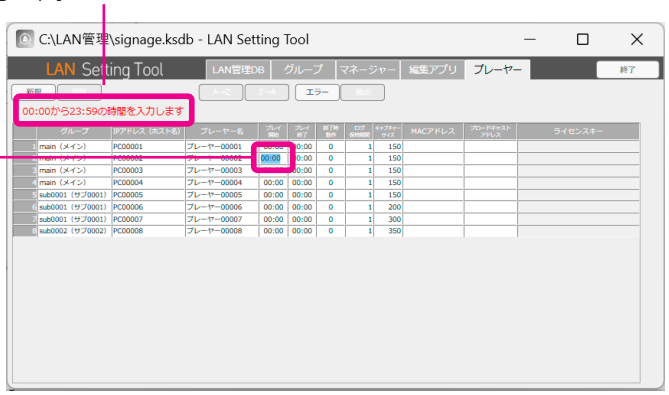


5-6. 設定値の編集

プレーヤーの設定値を変更します。

操作手順（セル入力）

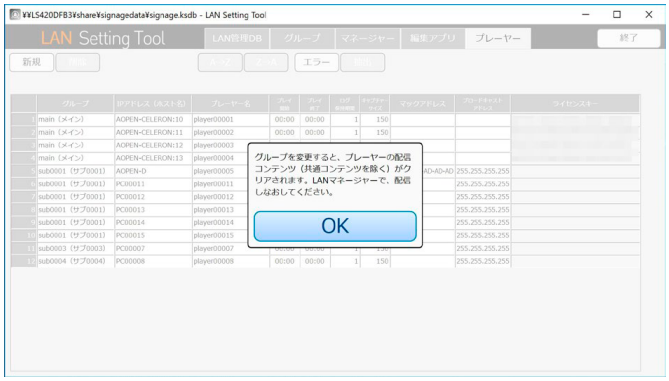
①対象のセルを選択する
②キーボードから値を入力する
※上部に表示される入力に関するメッセージを参考にしてください。



次ページにつづく

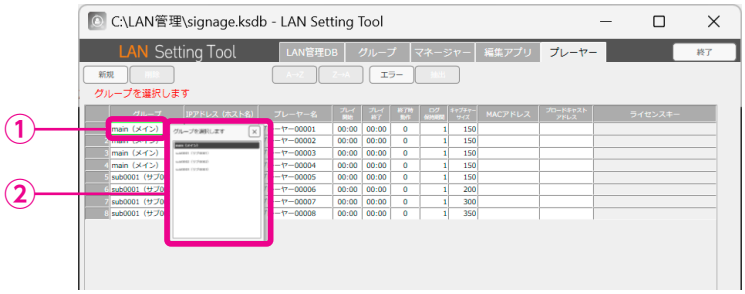
Point

グループを変更するとき、すでに LAN運用モードで
サイネージが運用されている場合は、プレーヤーに
配信されているコンテンツの情報がクリアされてしまうため、マネージャーで再配信する必要があります。
ご注意ください。
グループを選択すると、その旨(右図)のメッセージが
初回のみ表示されます。



操作手順（グループ変更）

①グループの欄をクリックする
②ポップアップしたグループリストから選択する
※グループが変更したことを確認する

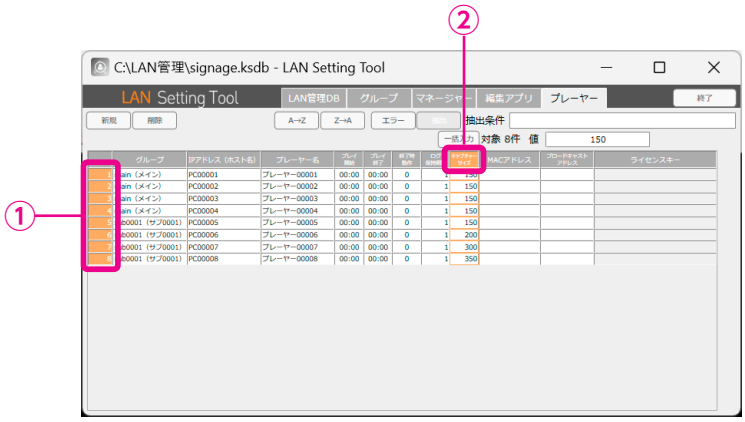


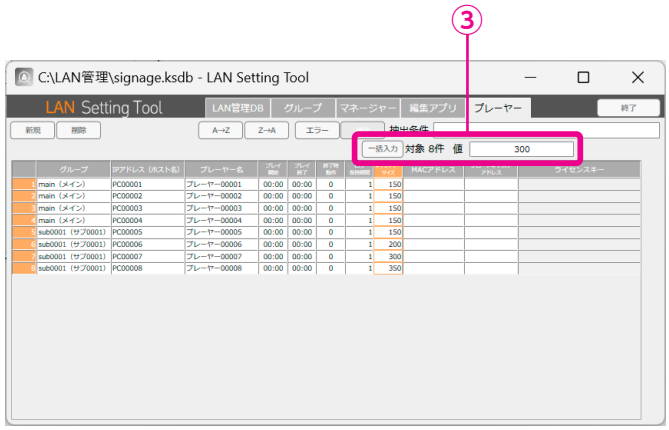
5-7. 設定値の一括入力

複数のセルの内容を一括して入力することもできます。
※ IP アドレス（ホスト名）、プレーヤー名、マックアドレスについては、一括入力ができません。

操作手順

①対象のプレーヤーを選択する
②編集したい項目をクリックする
※一括入力用のテキストボックスとボタンが上部に表示されます。
③テキストボックスに入力し、一括入力ボタンをクリックする





第 3 章 運用モードの変更：スタンドアローンから LAN へ

サイネージシステムの運用モードをスタンドアローン運用モードから LAN 運用モードに、またはその逆に、変更することができます。

1. LAN SettingTool とマネージャーのインストール

LAN 運用モードに移行するためには、まず、LAN SettingTool およびマネージャーをインストールする必要があります。インストール方法については、**第 1 章 4-1. 管理・編集ソフトウェアのインストール**を参照してください。

2. LAN 管理 DB の作成

インストールが終わったら、LAN SettingTool を起動し、LAN 管理 DB の作成を行います。
作成方法については、**第 1 章 4-2. LAN 環境の設定**を参照してください。

3. マネージャーの設定

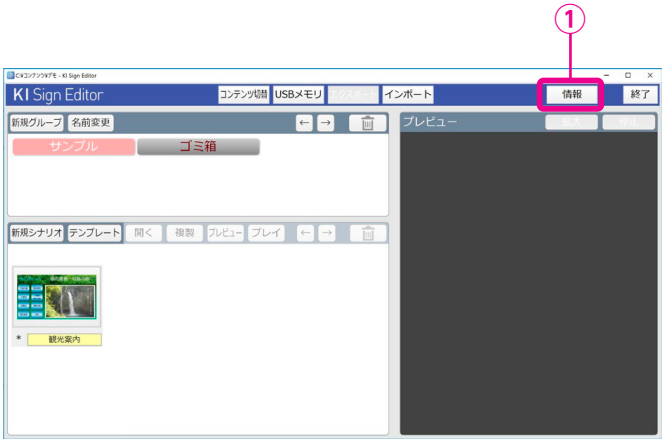
マネージャー（LAN Manager）を起動し、LA 管理 DB の場所を設定します。
設定方法については、**第 1 章 4-2. LAN 環境の設定**を参照してください。

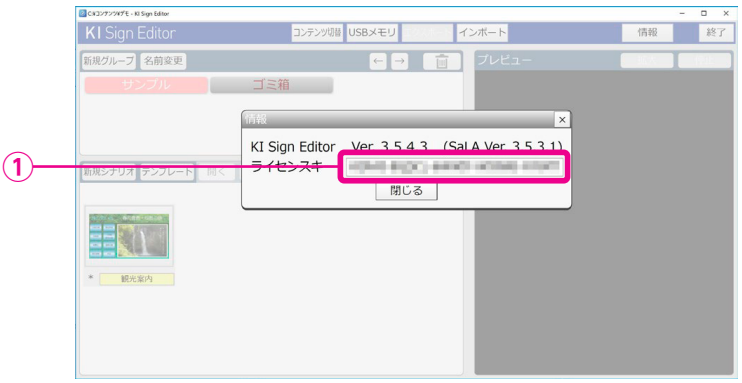
4. 編集ソフトウェアの設定

編集ソフトウェア (KI Sign Editor) の設定をスタンドアローン運用モードから LAN 運用モードに変更します。
Ctrl+S、または以下の手順で、編集アプリ基本設定画面を呼び出します。

操作手順

①**情報**ボタンをクリックする
②**ライセンスキー**をクリックする
※編集アプリ基本設定画面が開きます。
Ctrl+S を押すことでも開くことができます。





次ページにつづく

操作手順（つづき）

③**基本設定**タブで、運用形態の **LAN** ボタンをクリックする

④**LAN 設定へ**ボタンをクリックする
※ LAN 設定を行います。
第 1 章 4-4. 編集ソフトウェアの設定を参照してください。

⑤設定後、**確定**ボタンを押すと、編集ソフトウェアは、LAN 運用モードで再起動します。



5. プレーヤーの設定

プレーヤー（KI Sign Player）の設定をスタンドアローン運用モードから LAN 運用モードに変更します。
Ctrl+S、または以下の手順で、プレーヤーの基本設定画面を呼び出します。

操作手順

①プレーヤーのメニュー画面で、ライセンスキーをクリックする
※プレーヤー基本設定画面が開きます。

②**基本設定**タブで、運用形態の **LAN** ボタンをクリックする

③**LAN 設定へ**ボタンをクリックする
※ LAN 設定を行います。
第 1 章 4-6. プレーヤーの設定を参照してください。

④設定後、**確定**ボタンを押すと、プレーヤーは、LAN 運用モードで再起動します。





第 4 章 アンインストール手順

KI Sign 関連プログラムをアンインストールします。

1. アンインストール

操作手順

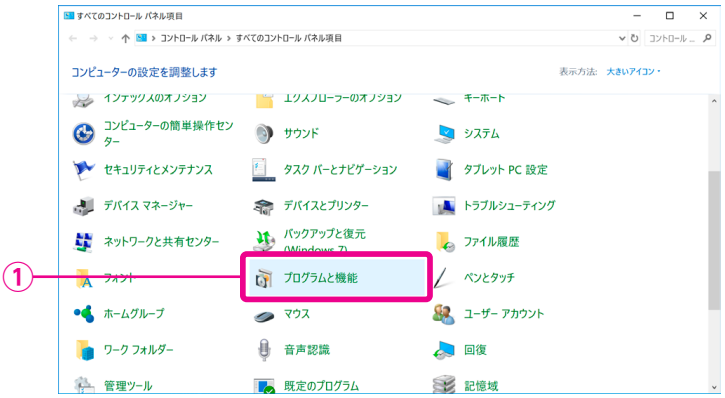
①コントロールパネルのプログラムと機能をクリックする

②プログラムの一覧からアンインストールを行うプログラムを選択する
※ KI Sign の関連プログラムは**下記表**を参照してください。

③アンインストールをクリックする
※ユーザーアカウント制御が表示された場合、**はい**ボタンをクリックします。

④確認ダイアログが表示されたら、OK ボタンをクリックする

⑤完了メッセージが表示されたら、アンインストール完了











KI Sign 関連プログラム

プログラム名	説明
KI Sign Editor	編集ソフトウェアのプログラム
KI Sign Player	プレーヤーのプログラム
Config Tool	インストールオプション変更ソフトウェアのプログラム
LAN Manager	マネージャーのプログラム
LAN SettingTool	LAN SettingTool のプログラム
SaLA	KI Sign 全体のプログラム

Microsoft、Windows、Excel および Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

S2310-0A